



2024年姫路市インバウンド・ターゲティング分析

データ主導で解き明かす、来訪ポテンシャルの最大化戦略

株式会社ANA総合研究所
ANA STRATEGIC RESEARCH INSTITUTE CO.,LTD.

2025年1月

1. 姫路市インバウンド・ターゲティング分析事業（概要） （1）事業目的（インバウンドデータ解析の効用価値）	・・・ P1
2. インバウンド戦略における現状課題とあるべき姿 （1）最短距離を効果的に走るためのデータ解析とは（STP分析の進化系）	・・・ P2
3. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計に必要な段取り （1）地域におけるインバウンド・マクロ流動の捉え方	・・・ P3
（2）姫路市来訪インバウンド・ポтенシャル可視化に向けた解析アプローチ	・・・ P4
（3）2024年度ロードマップ ①解析概要	・・・ P5
4. 姫路市来訪インバウンド・ポтенシャル推計に必要な分析手法 （1）Step1 H：2023年度 姫路市来訪インバウンド推計 ①ベンチマーク・ターゲット国籍候補選定（TC別）	・・・ P6
（2）Step2 ターゲット候補選定（出発国） ①国際線就航計画調査分析（重要性） 分析①-1 国際線就航計画：参考2024SP（サマーダイヤ計画値） 分析①-2 国際線就航計画：参考2024WP（ウィンターダイヤ計画値）	・・・ P7 ・・・ P8 ・・・ P9
②国籍（出発国）別・旅客実績の調査分析（重要性） 分析②-1 IATA加盟航空会社実績（2023年旅客実績サマリー） 分析②-2 法務省・出入国管理統計実績（2023年旅客実績サマリー）	・・・ P10 ・・・ P11 ・・・ P12
（3）Step2 「各種ターゲット候補（国籍別）」の選定要件	・・・ P13

5. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計 (TC別・国籍別)

(1) Step3 「2023年インバウンド出国実績 (ターゲット国籍候補別)

：大規模空港／姫路市近隣空港別」データ抽出

Step4 「日本国内移動率 (関東圏⇒関西圏他) × 滞在期間影響度反映

：C「関西圏 + 姫路市近隣県滞留インバウンド推計」

① 【概要と重要性】	・・・ P14
② 【TC1】	・・・ P15
③ 【TC2】	・・・ P16
④ 【TC3 東アジア】	・・・ P17
⑤ 【TC3 ASEAN】	・・・ P18

6. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計 (TC別・国籍別)

(1) Step5 H「姫路市来訪インバウンド推計」

C「関西圏 + 姫路市近隣県来訪インバウンド推計」

E「姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計 (国籍別)」

① クロス解析に必要な各種推計 (概要)	・・・ P19
② H ⇔ E 姫路市来訪実績に対するポテンシャル (旅客数比較)	・・・ P20
③ C ⇔ E 滞留数とポテンシャル数 (国籍別構成比)	・・・ P21
④ C ⇔ H 滞留数に対する姫路市来訪実績数 (来訪比率)	・・・ P22
⑤ C ⇔ E 滞留数に対するポテンシャル数 (来訪比率)	・・・ P23

7. インバウンド旅客特性データ (施策やプロモーション)

例① Step5：国際線直行便における空港別属性比較

・・・ P24

例② Step5：「羽田 + 成田空港 (国内線移動) ⇒ 関西圏」
「関西空港出入国」の属性比較

・・・ P25

例③ Step5：米国 (出国18空港) からの航空会社別提供座席数

・・・ P26

例④ Step5：韓国市場

・・・ P27

1. 姫路市インバウンド・ターゲティング分析事業（概要）

(1) 事業目的（インバウンド・データ解析の効用価値）

➤ 事業目的（利用目的）

1. 航空会社による国際線就航計画解析（姫路市周辺来訪の可能性を分析）

海に囲まれた日本にとって、航空各社の国際線運航計画「使用する機材（提供座席数）や就航便数等」が、インバウンドの渡航需要に最も大きな影響を与えており、特に搭乗率の高いTC1（北米等）やTC2（欧米）からの国籍別ターゲティングには、これらのデータ分析が不可欠となる。「ANA総合研究所」が保有する、世界各国の航空会社における国際線日本発着運航計画（2024年サマー／ウィンターダイヤ別）を、独自の手法で分析し、近い将来の関西圏におけるインバウンド需要見通しを把握することにより、姫路市来訪のポテンシャルを解析する。

POINT 1：航空各社計画の提供座席数は、様々な要因（特需や地政学リスク等）により大幅な増減が発生するため、先々の計画値把握が重要。

POINT 2：競合エリア（日本以外のアジア諸国）への就航計画変更等は、単年度データでは把握できないため、過去複数年の経年変化の分析や、先々の将来計画を把握することが重要となる。

POINT 3：サマーとウィンターダイヤで運航計画が変化（2024年ウィンターダイヤ：関西空港カナダ路線運休）する点にも注視が必要。



2. 姫路市における国籍別ターゲット・ポテンシャル解析（調査エリアにおける国籍別誘客目標設定の根拠や施策投下の定量化等）

また、上記1の国際線運航計画に対し、2023年（1年間）、海外のどの空港からどれだけの外国人旅行者が実際に関西圏を滞留していたのか、各種ビッグデータをクロス解析することにより、関西圏への流入量（①国際線直行便 ②日本国内における航空及び地上移動）を緻密に推計する。次に姫路市への来訪の可能性を可視化し、姫路市におけるコア・ターゲット（すでに高い需要のある国籍や属性データ）との比較分析を実施する。これにより、戦略ターゲット（関西圏に滞留しているが、姫路市を未だ訪れていないポテンシャル需要）を数値化するなど、姫路市における更なるインバウンド交流人口の拡大に向けた新たな展開に寄与する。



3. 姫路市におけるターゲット国籍別属性データ解析（ターゲット誘客に必要な観光コンテンツ＋サービス開発等の設計根拠等）

加えて、羽田・成田・関西空港への国際線直行便利用者の属性データと、首都圏への国際線チケット予約の際に、羽田・成田空港から伊丹・関西・神戸空港への国内線経由便を付帯予約した外国人旅行者の属性データをクロス分析することで、航空移動だけでなく関東圏からJR等を活用し、関西圏へ地上移動しているインバウンド属性等の解析を行う。これにより、地域関係者の観光コンテンツ及びサービス開発設計に必要な国籍別属性（国籍別の年齢・性別・滞在期間・富裕層等）結果を提供する。

4. クロス解析に必要な6種のビッグデータにおける各種項目の共通言語化と手法設計（航空業界の専門知識が必要）

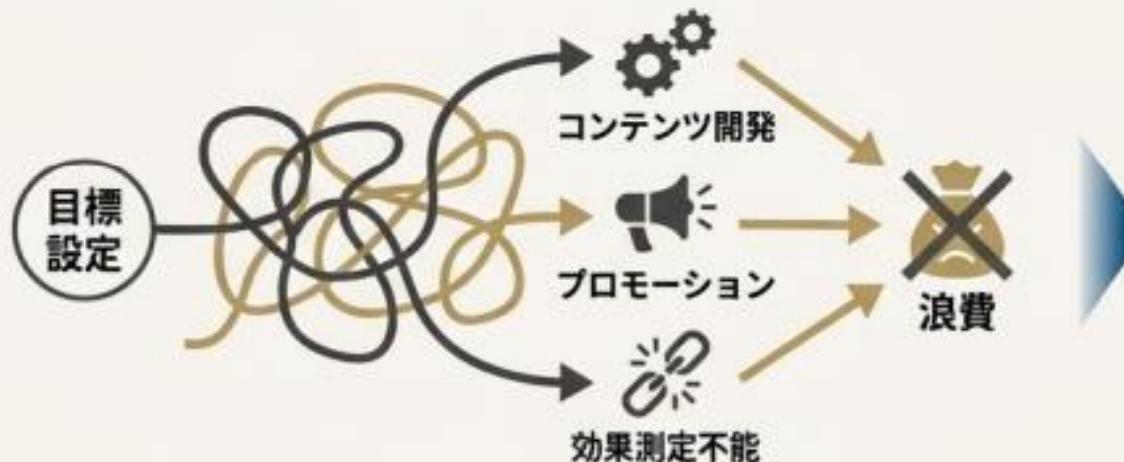
- ① 各種レターコード（航空会社・出発国・空港等）の整理
- ② FSC・LCC等の把握
- ③ 必要なデータ抽出と集計・融合・図表見える化

2. インバウンド戦略における現状課題とあるべき姿

(1) 最短距離を効果的に走るためのデータ解析とは (STP分析の進化系)

なぜ多くのインバウンド戦略は成果を最大化できないのか？

陥りがちな「感覚と願望」のターゲティング

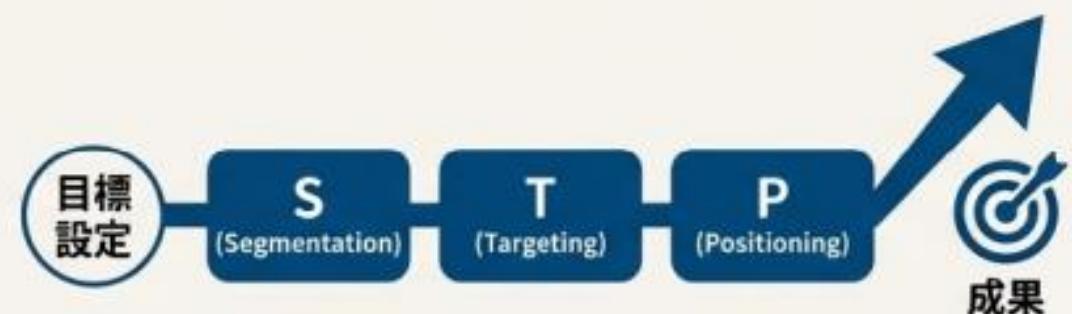


課題: 感覚と願望で目標を設定し、即座に施策（プロモーション等）に移行してしまう。

結果:

- エリア特性と不適合なコンテンツ開発
- 無計画なプロモーション配信
- 効果測定が不能で、施策の「やりっぱなし」が続く
- 莫大なコストと時間の浪費

あるべき姿：データに基づくSTP分析の進化系



S (Segmentation): 国籍・特性で市場を細分化。

T (Targeting): 航空データと実績をクロス分析し、誘客すべき国籍を「数値」で選定。

P (Positioning): 競合との差別化を明確化。

成果: 選択と集中によるコスト削減と効果の最大化。
根拠ある目標設定が可能に。

3. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計に必要な段取り

(1) 地域におけるインバウンド・マクロ流動の捉え方（姫路市来訪の可能性）

姫路市への主なアクセスルート



主要3エリア特徴

- ① 2024年：関西空港（席数）
➢ TC3構成比が3エリア計の約36%
➢ LCC構成比が3エリア計の約49%
➢ FSC構成比は3エリア計の約24%
➢ 羽田 + 成田空港利用の約42%

- ②2024年：姫路市近隣4空港（席数）
➢ TC3のみ就航
➢ 3エリア計の約1.3%
➢ LCCがFSCの約2倍規模

- ③2024年：羽田・成田空港（席数）
➢ 3エリア計で、TC1 約94%、
TC2 約82%
➢ FSC構成比は3エリアの約76%
➢ 関西空港利用の約2.4倍

ポテンシャルを可視化する、独自の5ステップ解析アプローチ



3. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計に必要な段取り

(3) 2024年度ロードマップ ①解析概要

- Step4とStep1をクロス分析
ターゲット国籍別に姫路市来訪の
ポテンシャル旅客数を解析・推計
- 属性や利用航空会社・空港等、来
訪拡大（施策やプロモーション）
に必要な旅客特性データを分析

Step5
2024年時点の姫路市来訪インバウンド・
ポテンシャル推計及びターゲット国籍別旅客
特性分析 ⇒ 施策立案+プロモーション活用

- 関東圏⇒関西圏・姫路市近隣県エリア
への国内移動率をStep4に反映
- 入国後の滞留地（距離）と滞在期間が姫路市来訪
に及ぼす影響度合いを算定し、Step4に反映
- 姫路市来訪の可能性があるインバウンド
(関西圏+近隣県滞留) 旅客数を推計

Step4
ターゲット国籍別・日本国内移動率算定&
関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計
①関東圏（羽田+成田着）から関西圏+中四国移動の人数
②長距離移動×滞在期間（短期間）影響度反映

Step 1
2023年姫路市来訪インバウンド数
⇒国籍別推計値・算出
公益社団法人 姫路観光コンベンションビューロー



実際に姫路市を来訪しているインバウンド
は、どの国から、どのくらいの人数なのか、
傾向値を把握

Step2
TC123別のターゲット候補選定 ⇒ 関西・
羽田・成田空港入国のインバウンドデータ調査
①コア・ターゲット（期待値が大きい国籍）
②戦略・ターゲット（来訪拡大の可能性有）

姫路市来訪の可能性 (関空+羽
田・成田空港関連基礎データ) に、
Step1をマージし、ターゲットに
すべき国籍候補を選定

Step3
姫路市来訪に影響のある日本国内
主要空港別ターゲット
国籍候補別・出国実績抽出

ターゲット国籍毎
(Step2) に、大規模
空港 (関西・羽田・成
田) 並びに姫路市近隣
空港出国者の滞在期間
別旅客数を把握

4. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計に必要な分析手法

(1) Step1 H: 2023年度 姫路市来訪インバウンド推計 ①ベンチマーク・ターゲット国籍候補選定 (TC別)

I 「姫路城パンフレット取得数推計 & 姫路市宿泊構成比データ」

①2023年度外国語パンフレット利用状況活用(データ出所:姫路観光CB)
⇒下記数値:パンフレット取得数に家族平均倍率反映済 (単位:人)

年度	英語	中(繁体)	中(簡体)	仏語	韓国語	計
2018	188,578	99,585	31,198	36,731	30,817	386,909
2019	210,673	95,803	34,119	37,911	16,497	395,003
2020	5,676	427	873	414	392	7,782
2021	6,032	124	698	157	123	7,134
2022	64,744	16,915	3,711	7,555	6,585	99,510
2023	275,763	77,720	26,659	46,674	25,484	452,300

②2023年度国籍別宿泊構成比活用(データ出所:姫路観光CB)

⇒右下:外国語パンフ利用者の国籍別割合を算定
⇒左下その他:ターゲット国籍算定に未反映

(単位: %)

1位	アメリカ	14.9%
2位	台湾	13.7%
3位	中国	11.4%
4位	フランス	8.6%
5位	韓国	6.7%
6位	ドイツ	5.6%
7位	香港	5.5%
8位	オーストラリア	3.8%
9位	イギリス	3.4%
10位	その他	26.4%
		100.0%

- 英語利用者構成比 (概算) 100%中
アメリカ 53.8% ドイツ 20.2% オーストラリア 13.7% イギリス 12.3%
- 仏語利用者構成比 (概算) 100%中
フランス 100%
- 繁体利用者構成比 (概算) 100%中
台湾 71.4% 香港 28.6%
- 簡体利用者構成比 (概算) 100%中
中国 100%
- 韓国語利用者構成比 (概算) 100%中
大韓民国 100%

II 「2023年度 国籍別・姫路市インバウンド旅客数」推計

TC1(オーストラリア含)	アメリカ
	148,360
TC2	オーストラリア 37,780 ドイツ 55,704 フランス 46,674
TC3	英國 33,919 台灣 55,456 中国 26,659 大韓民國 25,484 香港 22,264
TC123 主要9(国籍数)合計	452,300

III 「最も安定して期待できるベンチマーク・ターゲット国籍選定」 ※TC別に選定

- TC1 アメリカ: 148,360 人
- TC2 フランス: 46,674 人
- TC3 台湾: 55,456 人
- 主要9国籍: 452,300 人

- 海に囲まれた日本における訪日インバウンド需要分析には、世界各国の航空会社による「国際線就航計画」の調査・分析が最も重要となる。
- これら近い将来（未来）の就航計画を調査することにより、訪日インバウンド需要増減を見通し、特需やリスク算定による戦略（対処）立案を可能にする。
- また、目まぐるしく変化するインバウンド需要分析には、定期的な間隔や方法で継続的にデータを収集・観察し、時間経過による変化（経年分析）や傾向値（トレンド）を把握する調査が重要となる。
- 特需（大型イベント等）によるプラス要因（イベント集客が間接的に地域来訪を増加させるというよりは、供給座席数が拡大することが直接的にプラスに影響）や、大規模災害（地震やパンデミック）や地政学的リスク（経済制裁等）によるマイナス要因を、国際線就航実績（経年変化）で把握することにより、将来における需要増減の度合いを予測できる。



調査エリアにおけるインバウンド来訪の可能性（ターゲティング）を高い確率で予測し、現場における受け入れ態勢を準備。施策を立案するためには、国際線就航計画や実績の定点分析が不可欠となる。

4. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計に必要な分析手法

(2) Step2 ターゲット候補選定（出発国） 分析①-1 国際線就航計画：参考 2024SP（サマーダイヤ計画値）

- 2024年SP国際線就航計画⇒前提：世界各国の航空各社が算定した搭乗旅客需要見通しを反映（出発便TTLの国別座席数合計及び到着空港名）
- 関西圏へのインバウンド流動⇒TC3からのインバウンドは、関西空港の就航計画が重要／TC1及び2からのインバウンドは、首都圏（羽田+成田）からの移動推計が重要
- 注意点⇒国際線経由（乗り継ぎ）によるインバウンド流動⇒例：TC2におけるNO.1アラブ首長国連邦 NO.2トルコ共和国 NO.3カタール国間の搭乗国籍分析の必要性
- 赤字⇒コア・ターゲット出発国の中で、更にベンチマークすべき出発国／青字 ⇒ コア・ターゲット出発国／緑字⇒戦略ターゲット出発国

A:2024関西空港サマーダイヤ計画値

国別・各種セグメント別	海外空港	24SP	24SP構成比
総計		9,276,010	100.0%
FSC合計		5,191,318	56.0%
TC1		268,510	2.9%
NO.1 アメリカ合衆国	HNL/LAX/SFO	214,937	2.3%
NO.2 カナダ	YVR/YYZ	53,573	0.6%
TC2		498,699	5.4%
NO.1 アラブ首長国連邦	AUH/DXB	153,864	1.7%
NO.2 トルコ共和国	IST	72,000	0.8%
NO.3 カタール国	DOH	67,920	0.7%
NO.4 ドイツ連邦共和国	MUC	65,339	0.7%
NO.5 フランス共和国	CDG	56,426	0.6%
NO.6 フィンランド共和国	HEL	54,825	0.6%
NO.7 オランダ王国	AMS	28,325	0.3%
TC3		4,424,109	47.7%
NO.1 中華人民共和国	CAN/CGK/DLC/FOC/HGH/HRB/NKG/PEK/PKX/PVG/SHE/SZK/TAO/TFU/TNA/WUX/XMN	1,592,903	17.2%
NO.2 台湾	KHH/TPE	881,811	9.5%
NO.3 大韓民国	GMP/INC	620,482	6.7%
NO.4 香港	HKG	459,677	5.0%
NO.5 シンガポール共和国	SIN	242,640	2.6%
NO.6 タイ王国	BKK	204,190	2.2%
NO.7 ベトナム社会主义共和国	HAN/SGN	146,898	1.6%
NO.8 フィリピン共和国	CEB/MNL	107,080	1.2%
NO.9 マレーシア	KUL	69,600	0.8%
NO.10 グアム	GUM	56,938	0.6%
NO.11 マカオ	MFM	37,366	0.4%
NO.12 モンゴル国	UBN	4,524	0.0%

LCC合計 4,084,692 44.0%

TC3 4,084,692 44.0%

NO.1 大韓民国 CJJ/CJU/GMP/INC/PUS/TAE 1,938,239 20.9%

NO.2 香港 HKG 481,746 5.2%

NO.3 中華人民共和国 CKG/DLC/HGH/NGB/PVG/SHE/TSN/WUX 398,415 4.3%

NO.4 台湾 KHH/TPE 374,928 4.0%

NO.5 タイ王国 BKK/CNX 232,715 2.5%

NO.6 フィリピン共和国 MNL 198,856 2.1%

NO.7 ベトナム社会主义共和国 HAN/SGN 158,400 1.7%

NO.8 オーストラリア連邦 BNE/CNS/SYD 128,305 1.4%

NO.9 マレーシア KUL 89,340 1.0%

NO.10 シンガポール共和国 SIN 83,748 0.9%

B:2024羽田空港サマーダイヤ計画値

国別・各種セグメント別	海外空港	24SP	24SP構成比
総計		8,987,743	100.0%
FSC合計		8,454,751	94.1%
TC1		2,169,061	24.1%
NO.1 アメリカ合衆国	HNL/LAX/SFO	2,039,875	22.7%
NO.2 カナダ	YVR/YYZ	129,186	1.4%
TC2		1,290,229	14.4%
NO.1 ドイツ連邦共和国	FRA/MUC	301,300	3.4%
NO.2 英国	LHR	286,768	3.2%
NO.3 フランス共和国	CDG	253,967	2.8%
NO.4 フィンランド共和国	HEL	105,303	1.2%
NO.5 アラブ首長国連邦	DXB	84,960	0.9%
NO.6 トルコ共和国	IST	83,760	0.9%
NO.7 イタリア共和国	FCO	77,715	0.9%
NO.8 カタール国	DOH	49,286	0.5%
NO.9 デンマーク王国	CPH	39,000	0.4%
NO.10 オーストリア共和国	VIE	8,170	0.1%
TC3		4,995,461	55.6%
NO.1 中華人民共和国	CAN/DLC/PEK/PKX/PVG/SHA/SZK/TAO	1,489,882	16.6%
NO.2 大韓民国	GMP/INC	785,562	8.7%
NO.3 台湾	TSA	531,145	5.9%
NO.4 シンガポール共和国	SIN	431,783	4.8%
NO.5 タイ王国	BKK	394,768	4.4%
NO.6 オーストラリア連邦	CNS/SYD	356,439	4.0%
NO.7 香港	HKG	268,770	3.0%
NO.8 フィリピン共和国	MNL	194,001	2.2%
NO.9 ベトナム社会主义共和国	HAN/SGN	185,743	2.1%
NO.10 インドネシア共和国	CGK	175,110	1.9%
NO.11 インド	DEL	106,296	1.2%
NO.12 マレーシア	KUL	46,248	0.5%
NO.13 グアム	GUM	29,714	0.3%

LCC合計 532,992 5.9%

TC3 532,992 5.9%

NO.1 香港 HKG 165,370 1.8%

NO.2 中華人民共和国 PVG/TSN 92,950 1.0%

NO.3 マレーシア KUL 90,344 1.0%

NO.4 台湾 TPE 88,320 1.0%

NO.5 ベトナム社会主义共和国 SGN 52,800 0.6%

NO.6 大韓民国 ICN 43,208 0.5%

C:2024成田空港サマーダイヤ計画値

国別・各種セグメント別	海外空港	24SP	24SP構成比
総計		11,901,552	100.0%
FSC合計		8,464,242	71.1%
TC1		1,594,959	13.4%
NO.1 アメリカ合衆国	BOS/DEN/DFW/EWR/HNL/IAH/KOA/LAX/ORD/SAN/SEA/SFO	1,172,211	9.8%
NO.2 カナダ	YUL/YVR/YYZ	320,268	2.7%
NO.3 メキシコ合衆国	MEX	102,480	0.9%

国別・各種セグメント別	海外空港	24SP	24SP構成比
TC2	AUH/DXB	788,017	6.6%
NO.1 アラブ首長国連邦	DOH	203,643	1.7%
NO.2 カタール国	IST	84,908	0.7%
NO.3 トルコ共和国	AMS	72,784	0.6%
NO.4 オランダ王国	HEL	66,481	0.6%
NO.5 フィンランド共和国	WAW	65,719	0.6%
NO.6 ポーランド共和国	ZRH	60,732	0.5%
NO.7 スイス連邦	VIE	55,040	0.5%
NO.8 ドイツ連邦共和国	FRA	46,800	0.4%
NO.9 オーストリア共和国	CDG	46,204	0.4%
NO.10 フランス共和国	3空港	39,360	0.3%
NO.11 その他の3か国		46,285	0.4%

国別・各種セグメント別	海外空港	24SP	24SP構成比
TC3	CAN/CGK/DLC/FOC/HGH/HRB/NKG/PEK/PKX/PVG/SHE/SZK/TAO/TFU/TNA/WUX/XIY/XMN	6,081,266	51.1%
NO.1 中華人民共和国	KHH/TPE	1,241,960	10.4%
NO.2 台湾	HKG	954,674	8.0%
NO.3 香港	INC/PUS	654,394	5.5%
NO.4 大韓民国	DAD/HAN/SGN	397,846	3.3%
NO.5 ベトナム社会主义共和国	BKK	388,265	3.3%
NO.6 タイ王国	BKI/KUL	268,738	2.3%
NO.7 マレーシア	SIN	251,641	2.1%
NO.8 シンガポール共和国	CEB/MNL	249,344	2.1%
NO.9 フィリピン共和国	GUM	199,130	1.7%
NO.10 グアム	CGK/DPS/MDC	192,203	1.6%
NO.11 インドネシア共和国	BNE/MEL/PER	161,244	1.4%
NO.12 オーストラリア連邦	16空港	444,684	3.7%

LCC合計 3,437,310 28.9%

TC1 69,742 0.6%

NO.1 カナダ YVR/YYC 68,931 0.6%

NO.2 アメリカ合衆国 HNL/LAX/SFO/SJC 811 0.0%

国別・各種セグメント別	海外空港	24SP	24SP構成比
TC3	CJJ/INC/PUS/TAE	3,367,568	28.3%
NO.1 大韓民国	KHH/TPE	1,389,147	11.7%
NO.2 台湾	HKG	488,849	4.1%
NO.3 フィリピン共和国	CEB/CRK/MNL	381,880	3.2%
NO.4 香港	ICN	349,646	2.9%
NO.5 タイ王国	BKK	181,080	1.5%
NO.6 ベトナム社会主义共和国	HAN/SGN	167,505	1.4%
NO.7 オーストラリア連邦	BNE/CNS	160,800	1.4%
NO.8 中華人民共和国	HRB/PVG/SJW/TSN	158,420	1.3%
NO.9 シンガポール共和国	SIN	90,240	0.8%

4. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計に必要な分析手法

(2) Step2 ターゲット候補選定（出発国） 分析①-2 國際線就航計画：参考 2024WP（ウィンターダイヤ計画値）

- 2024年WP国際線就航計画⇒前提：世界各国の航空各社が算定した搭乗旅客需要見通しを反映（出発便TTLの国別座席数合計及び到着空港名）
- 関西圏へのインバウンド流動⇒TC3からのインバウンドは、関西空港の就航計画が重要／TC1及び2からのインバウンドは、首都圏（羽田+成田）からの移動推計が重要
- 注視すべき点⇒国際線経由（乗り継ぎ）によるインバウンド流動⇒例：TC2におけるNO.1アラブ首長国連邦 NO.2カタール国 NO.3トルコ共和国間の搭乗分析の必要性
- 赤字⇒姫路市渡航ポテンシャルにおいて、最もベンチマークすべきTC別の出発国／青字 ⇒ ポテンシャルの高いターゲット候補（出発国）
- 関西空港TC1：米国のみの就航（サマーダイヤにおけるカナダ就航チェック）⇒ カナダをターゲティングすべきか検討必要

A:2024関西空港ウィンターダイヤ計画値

国別・各種セグメント別	海外空港	24WP	構成比
総計		6,577,268	100.0%
FSC合計		3,697,709	56.2%
TC1		268,510	4.1%
NO.1 アメリカ合衆国	HNL/LAX/SFO	134,584	2.0%
TC2		245,028	3.7%
NO.1 アラブ首長国連邦	AUH/DXB	93,966	1.4%
NO.2 カタール国	DOH	41,079	0.6%
NO.3 トルコ共和国	IST	38,749	0.6%
NO.4 フィンランド共和国	HEL	20,134	0.3%
NO.5 フランス共和国	CDG	19,641	0.3%
NO.6 オランダ王国	AMS	17,981	0.3%
NO.7 ドイツ連邦共和国	MUC	13,478	0.2%
TC3		3,318,097	50.4%
NO.1 中華人民共和国	CAN/CKG/DLC/FOC/HGH/HRB/NKG/PEK/PKX/PVG/SHE/SZK/TAO/TFU/TNA/WUX/XMN	1,430,077	21.7%
NO.2 台湾	KHH/TPE	539,323	8.2%
NO.3 大韓民国	GMP/INC	466,102	7.1%
NO.4 香港	HKG	338,710	5.1%
NO.5 シンガポール共和国	SIN	140,192	2.1%
NO.6 タイ王国	BKK	131,978	2.0%
NO.7 ベトナム社会主義共和国	HAN/SGN	95,715	1.5%
NO.8 フィリピン共和国	CEB/MNL	70,774	1.1%
NO.9 マレーシア	KUL	44,058	0.7%
NO.10 グアム	GUM	33,698	0.5%
NO.11 マカオ	MFM	27,470	0.4%

LCC合計		2,879,559	43.8%
TC3		2,879,559	43.8%
NO.1 大韓民国	CJJ/CJU/GMP/INC/PUS/TAE	1,255,445	19.1%
NO.2 中華人民共和国	CKG/DLC/HGH/NGB/PVG/SHE/TSN/WUX	366,436	5.6%
NO.3 台湾	KHH/TPE	337,446	5.1%
NO.4 香港	HKG	308,167	4.7%
NO.5 タイ王国	BKK/CNX	159,219	2.4%
NO.6 フィリピン共和国	MNL	133,386	2.0%
NO.7 ベトナム社会主義共和国	HAN/SGN	101,640	1.5%
NO.8 オーストラリア連邦	BNE/CNS/SYD	81,070	1.2%
NO.9 シンガポール共和国	SIN	79,100	1.2%
NO.10 マレーシア	KUL	57,650	0.9%

B:2024羽田空港ウィンターダイヤ計画値

国別・各種セグメント別	海外空港	24WP	構成比
総計		5,867,897	100.0%
FSC合計		5,525,493	94.2%
TC1		1,421,372	24.2%

NO.1 アメリカ合衆国	HNL/LAX/SFO	1,322,966	22.5%
NO.2 カナダ	YVR/YYZ	98,406	1.7%

TC2		788,390	13.4%
NO.1 ドイツ連邦共和国	FRA/MUC	195,252	3.3%
NO.2 フランス共和国	CDG	158,676	2.7%
NO.3 英国	LHR	140,361	2.4%
NO.4 フィンランド共和国	HEL	59,585	1.0%
NO.5 イタリア共和国	FCO	59,238	1.0%
NO.6 トルコ共和国	IST	57,426	1.0%
NO.7 アラブ首長国連邦	DXB	48,600	0.8%
NO.8 カタール国	DOH	31,262	0.5%
NO.9 デンマーク王国	CPH	19,200	0.3%
NO.10 オーストリア共和国	VIE	14,190	0.2%
NO.11 スウェーデン	ARN	4,600	0.1%

TC3		3,315,731	56.5%
NO.1 中華人民共和国	CAN/DLC/FOC/HGH/HRB/NKG/PEK/PKX/PVG/SHE/SZK/TAO/TFU/TNA/WUX/XMN	1,011,745	17.2%
NO.2 大韓民国	GMP/INC	502,195	8.6%
NO.3 台湾	TSA	342,660	5.8%
NO.4 シンガポール共和国	SIN	277,929	4.7%
NO.5 タイ王国	BKK	273,849	4.7%
NO.6 オーストラリア連邦	CNS/SYD	222,960	3.8%
NO.7 香港	HKG	179,790	3.1%
NO.8 インドネシア共和国	CGK	126,471	2.2%
NO.9 フィリピン共和国	MNL	123,412	2.1%
NO.10 ベトナム社会主義共和国	HAN/SGN	117,332	2.0%
NO.11 インド	DEL	72,446	1.2%
NO.12 マレーシア	KUL	39,378	0.7%
NO.13 グアム	GUM	25,564	0.4%

LCC合計		342,404	5.8%
TC3		342,404	5.8%
NO.1 香港	HKG	106,490	1.8%
NO.2 中華人民共和国	PVG/TSN	59,584	1.0%
NO.3 マレーシア	KUL	58,058	1.0%
NO.4 台湾	TPE	56,672	1.0%
NO.5 ベトナム社会主義共和国	SGN	33,880	0.6%
NO.6 大韓民国	ICN	27,720	0.5%

C:2024成田空港ウィンターダイヤ計画値

国別・各種セグメント別	海外空港	24WP	構成比
総計		8,127,277	100.0%
FSC合計		5,710,078	70.3%
TC1		976,264	12.0%

NO.1 アメリカ合衆国	BOS/DEN/DFW/EWR/HNL/IAH/KOA/LAX/ORD/SAN/SEA/SFO	731,693	9.0%
NO.2 カナダ	YUL/YVR/YYZ	177,325	2.2%
NO.3 メキシコ合衆国	MEX	67,246	0.8%

TC2		419,905	5.2%
NO.1 アラブ首長国連邦	AUH/DXB	119,596	1.5%
NO.2 カタール国	DOH	61,591	0.8%
NO.3 オランダ王国	AMS	44,432	0.5%
NO.4 トルコ共和国	IST	39,000	0.5%
NO.5 スイス連邦	ZRH	35,200	0.4%
NO.6 ドイツ連邦共和国	FRA	30,030	0.4%
NO.7 スペイン王国	MAD	22,620	0.3%
NO.8 その他	5空港	67,436	0.8%

TC3		4,313,909	53.1%
NO.1 中華人民共和国	CAN/CGO/DLC/FOC/HGH/HRB/KMG/NKG/PEK/PKX/PVG/SHE/SZK/TAO/TFU/TNU/WUH/XIY/XMN	934,156	11.5%
NO.2 台湾	KHH/TPE	608,782	7.5%
NO.3 大韓民国	INC/PUS	507,898	6.2%
NO.4 香港	HKG	475,361	5.8%
NO.5 タイ王国	BKK	269,178	3.3%
NO.6 ベトナム社会主義共和国	DAD/HAN/SGN	265,468	3.3%
NO.7 シンガポール共和国	SIN	196,724	2.4%
NO.8 フィリピン共和国	CEB/MNL	188,760	2.3%
NO.9 マレーシア	BKI/KUL	186,151	2.3%
NO.10 インドネシア共和国	CGK/DPS/MDC	131,437	1.6%
NO.11 オーストラリア連邦	BNE/MEL/PER	131,382	1.6%
NO.12 その他	14空港	418,612	5.2%

LCC合計		2,417,199	29.7%
TC1		656	0.0%
NO.1 アメリカ合衆国	HNL/LAX/SFO/SJC	564	0.0%
NO.2 カナダ	YVR/YYC	92	0.0%

TC3		2,416,543	29.7%
NO.1 大韓民国	CJJ/INC/PUS/TAE	916,190	11.3%
NO.2 台湾	KHH/TPE	327,434	4.0%
NO.3 フィリピン共和国	CEB/CRK/MNL	284,362	3.5%
NO.4 香港	HKG	252,818	3.1%
NO.5 中華人民共和国	HRB/PVG/SJW/TSN	229,116	2.8%
NO.6 タイ王国	BKK	143,899	1.8%
NO.7 オーストラリア連邦	BNE/CNS	103,180	1.3%
NO.8 ベトナム社会主義共和国	HAN/SGN	101,640	1.3%
NO.9 シンガポール共和国	SIN	57,904	0.7%

- 世界各国の航空会社による国際線就航計画に対し、**実際に来訪したインバウンドの旅客分析**には、「①IATA加盟（全体の83%）の航空会社旅客実績（出発国別）」や「②日本国内における空港別出入国統計（国籍別）」のクロス分析が不可欠となる。
- ①は、搭乗した**航空会社別旅客実績を把握**できるが、旅客の属性（性別・年齢等）情報は取得できない。②は、搭乗した航空会社やどの国から来訪したのかの情報は取得できないが、**国籍別旅客属性（性別・年齢・滞在期間）を把握**することが出来る。①と②をクロス分析することにより、**国籍別ターゲティング候補**をより明確に選定できる。
- 国際線就航計画に対する①及び②の実績（経年変化）を調査することにより、**出発国別の訪日インバウンド旅客増減を把握**し、ターゲティング戦略（算定）を確固たるものにする。
- 各国から搭乗した航空会社が、**FSC**（フルサービスキャリア）か、**LCC**（ローコストキャリア）なのか、その旅客数規模を把握することで、**来訪後の経済波及効果・期待度**を予見することは、**国籍別ターゲティング候補選定**において重要なファクターとなる。



調査エリアに影響を与える**空港別のインバウンド来訪旅客実績の定点分析**を行うことで、**国籍別ターゲティング候補**をより定量的かつ明確にする。

4.姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計に必要な分析手法

(2) Step2 ターゲット候補選定（出発国）分析 ②-1 IATA加盟航空会社実績（2023年旅客実績サマリー）

- 2023年(1~12月TTL) IATA（世界の航空会社約83%加盟）実績分析→関西圏3空港への国際線（直行便）及び日本国内経由（ストップオーバーを含まない）実績の合算
- 赤字⇒コア・ターゲット出発国の中で、更にベンチマークすべき出発国／青字⇒コア・ターゲット出発国／緑字 ⇒ 戰略ターゲット出発国

FSC・LCC／関西圏（伊丹・関西・神戸空港別）	FSC				LCC			FSC+LCC				
	ITM	KIX	UKB	合計	ITM	KIX	UKB	合計	ITM	KIX	UKB	合計
総計	132,285	2,505,346	4,399	2,642,029	1,510	2,212,305	482	2,214,297	133,795	4,717,651	4,880	4,856,326
NO TC1+オーストラリア (TC3)	71,659	181,602	1,644	254,904	7	60,462	0	60,469	71,666	242,063	1,644	315,373
NO.1 アメリカ合衆国	53,737	133,536	1,086	188,358	0	236	0	236	53,737	133,771	1,086	188,594
NO.2 オーストラリア	7,754	26,551	134	34,439	2	60,226	0	60,228	7,756	86,777	134	94,667
NO.3 カナダ	7,053	14,683	396	22,131	5	0	0	5	7,058	14,683	396	22,136
NO.4 ブラジル連邦共和国	695	4,527	9	5,231	0	0	0	0	695	4,527	9	5,231
NO.5 メキシコ合衆国	1,620	683	9	2,312	0	0	0	0	1,620	683	9	2,312
NO.5 その他38か国	801	1,622	12	2,434	0	0	0	0	801	1,622	12	2,434

NO TC2	25,332	194,652	1,483	221,466	0	2,003	0	2,003	25,332	196,655	1,483	223,469
NO.1 フランス共和国	3,388	36,290	498	40,176	0	0	0	0	3,388	36,290	498	40,176
NO.2 英国	5,219	22,040	685	27,943	0	6	0	6	5,219	22,045	685	27,948
NO.3 ドイツ連邦共和国	5,977	21,672	127	27,775	0	34	0	34	5,977	21,706	127	27,809
NO.4 イタリア共和国	2,387	22,152	27	24,565	0	0	0	0	2,387	22,152	27	24,565
NO.5 スペイン王国	1,541	16,674	18	18,232	0	2	0	2	1,541	16,676	18	18,234
NO.6 アラブ首長国連邦	59	13,086	0	13,145	0	1,656	0	1,656	59	14,742	0	14,801
NO.7 オランダ王国	453	8,636	4	9,093	0	0	0	0	453	8,636	4	9,093
NO.8 スイス連邦	513	5,795	32	6,339	0	0	0	0	513	5,795	32	6,339
NO.9 フィンランド共和国	857	3,580	1	4,438	0	0	0	0	857	3,580	1	4,438
NO.10 トルコ共和国	395	3,567	2	3,964	0	1	0	1	395	3,568	2	3,965
NO.11 その他100か国	4,545	41,163	92	45,800	0	305	0	305	4,545	41,468	92	46,104

NO TC3+オーストラリア (TC3)	35,295	2,129,092	1,272	2,165,659	1,503	2,149,841	482	2,151,826	36,798	4,278,933	1,754	4,317,485
NO.1 大韓民国	1,127	368,468	8	369,602	186	1,218,879	30	1,219,095	1,313	1,587,347	38	1,588,697
NO.2 中華人民共和国	2,040	555,590	59	557,688	130	123,343	17	123,489	2,170	678,932	75	681,177
NO.3 台湾	2,715	501,774	332	504,821	468	149,980	342	150,790	3,183	651,754	674	655,611
NO.4 香港	792	229,060	91	229,943	664	220,326	84	221,074	1,456	449,386	175	451,017
NO.5 タイ王国	4,405	98,640	212	103,256	38	148,144	0	148,182	4,442	246,784	212	251,438
NO.6 シンガポール共和国	6,254	83,825	245	90,324	3	72,892	6	72,901	6,257	156,716	251	163,224
NO.7 フィリピン共和国	1,407	51,310	28	52,744	0	94,784	0	94,784	1,407	146,094	28	147,528
NO.8 ベトナム社会主義共和国	2,089	67,779	2	69,869	15	67,175	4	67,193	2,103	134,953	6	137,062
NO.9 マレーシア	1,295	38,171	15	39,480	0	42,229	0	42,229	1,295	80,399	15	81,709
NO.10 インドネシア共和国	7,040	53,423	145	60,607	0	6,502	0	6,502	7,040	59,925	145	67,109
NO.11 その他34か国	6,135	81,056	137	87,327	0	5,589	0	5,589	6,135	86,645	137	92,916

構成比
6.5%
3.9%
1.9%
0.5%
0.1%
0.05%
0.1%
4.6%
0.8%
0.6%
0.6%
0.5%
0.4%
0.3%
0.2%
0.1%
0.1%
0.1%
0.1%
0.9%

◆コア・ターゲット 9か国

➤ TC1(オーストラリア含む) 2か国

- 1.アメリカ
- 2.オーストラリア

➤ TC2 3か国

- 1.フランス
- 2.英国
- 3.ドイツ

➤ TC3 4か国

- 1.大韓民国
- 2.中国
- 3.台湾
- 4.香港



◆戦略ターゲット候補（可能性）9か国

➤ TC1 1か国

- 1.カナダ

➤ TC2 2か国

- 1.イタリア
- 2.スペイン

➤ TC3 6か国

- 1.タイ
- 2.シンガポール
- 3.フィリピン
- 4.ベトナム
- 5.マレーシア
- 6.インドネシア

4. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計に必要な分析手法

(2) Step2 ターゲット候補選定（国籍）分析②-2 出入国管理統計実績（2023年出入国実績サマリー）

- 2023年(1~12月TTL) 実績分析⇒関西圏3空港への国際線（直行便）及び日本国内経由（ストップオーバーを含まない）実績の合算
- 赤字⇒コア・ターゲット出発国の中で、更にベンチマークすべき出発国／青字⇒コア・ターゲット出発国／緑字⇒戦略ターゲット出発国

①2023年 関西空港出国実績

総計	5,920,949	構成比
TC1+オーストラリア	359,079	6.1%
NO.1 米国	207,581	3.5%
NO.2 オーストラリア	88,663	1.5%
NO.3 カナダ	49,117	0.8%
NO.4 ブラジル	4,996	0.1%
NO.5 メキシコ	3,531	0.1%
NO.6 その他 31か国	5,191	0.1%
TC2	262,597	4.4%
NO.1 フランス	43,380	0.7%
NO.2 英国	41,734	0.7%
NO.3 ドイツ	27,716	0.5%
NO.4 イタリア	24,654	0.4%
NO.5 スペイン	16,140	0.3%
NO.6 その他 120か国	108,973	1.8%
TC3	5,299,273	89.5%
NO.1 大韓民国	2,129,862	36.0%
NO.2 台湾	1,025,487	17.3%
NO.3 中国	719,753	12.2%
NO.4 香港	603,353	10.2%
NO.5 タイ	238,193	4.0%
NO.6 シンガポール	155,033	2.6%
NO.7 フィリピン	138,548	2.3%
NO.8 マレーシア	115,430	1.9%
NO.9 インドネシア	60,948	1.0%
NO.10 ベトナム	49,069	0.8%
NO.11 その他 24か国	63,597	1.1%

②2023年 羽田空港出国実績

総計	3,877,021	構成比
TC1+オーストラリア	1,324,300	34.2%
NO.1 米国	920,319	23.7%
NO.2 オーストラリア	243,472	6.3%
NO.3 カナダ	109,677	2.8%
NO.4 ブラジル	15,380	0.4%
NO.5 メキシコ	14,182	0.4%
NO.6 その他 32か国	21,270	0.5%
TC2	700,435	18.1%
NO.1 英国	144,750	3.7%
NO.2 フランス	116,108	3.0%
NO.3 ドイツ	97,219	2.5%
NO.4 イタリア	66,793	1.7%
NO.5 スペイン	50,025	1.3%
NO.6 その他 120か国	225,540	5.8%
TC3	1,852,286	47.8%
NO.1 台湾	355,379	9.2%
NO.2 大韓民国	354,453	9.1%
NO.3 中国	343,523	8.9%
NO.4 香港	189,963	4.9%
NO.5 シンガポール	141,425	3.6%
NO.6 タイ	115,966	3.0%
NO.7 マレーシア	102,673	2.6%
NO.8 インドネシア	102,539	2.6%
NO.9 フィリピン	58,067	1.5%
NO.10 インド	35,572	0.9%
NO.11 ベトナム	24,696	0.6%
NO.12 その他 25か国	28,030	0.7%

③2023年 成田空港出国実績

総計	6,756,248	構成比
TC1	1,203,291	17.8%
NO.1 米国	684,260	10.1%
NO.3 カナダ	209,007	3.1%
NO.3 オーストラリア	195,114	2.9%
NO.4 メキシコ	66,591	1.0%
NO.5 ブラジル	21,424	0.3%
NO.6 その他 30か国	26,895	0.4%
TC2	635,172	9.4%
NO.1 英国	77,986	1.2%
NO.2 フランス	76,506	1.1%
NO.3 ドイツ	71,427	1.1%
NO.4 イタリア	45,275	0.7%
NO.5 スペイン	39,194	0.6%
NO.6 その他 121か国	324,784	4.8%
TC3	4,917,785	72.8%
NO.1 大韓民国	1,253,348	18.6%
NO.2 台湾	1,133,259	16.8%
NO.3 香港	603,930	8.9%
NO.4 中国	543,078	8.0%
NO.5 タイ	377,046	5.6%
NO.6 フィリピン	246,468	3.6%
NO.7 シンガポール	207,245	3.1%
NO.8 インドネシア	146,898	2.2%
NO.9 マレーシア	131,483	1.9%
NO.10 ベトナム	96,799	1.4%
NO.11 その他 26か国	178,231	2.6%

◆コア・ターゲット 9か国

- TC1(オーストラリア含む) 2か国
 - 1.アメリカ
 - 2.オーストラリア
- TC2 3か国
 - 1.フランス
 - 2.英国
 - 3.ドイツ

+

◆戦略ターゲット候補（可能性）9か国

- TC1 1か国
 - 1.カナダ
- TC2 2か国
 - 1.イタリア
 - 2.スペイン
- TC3 6か国
 - 1.タイ
 - 2.シンガポール
 - 3.フィリピン
 - 4.マレーシア
 - 5.インドネシア
 - 6.ベトナム

4. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計に必要な分析手法

(3) Step2 「各種ターゲット候補（国籍別）」の選定要件

➤ 「姫路市来訪における各種国籍別ターゲット候補」の選定要件

姫路市来訪において、関西空港を利用したインバウンド構成比は、①国際線就航計画SP及びWP(p8-9) ②IATA加盟航空会社実績(p11) ③法務省管理出国実績(p12) すべてにおいて、TC3が9割近くの構成比であった。

一方で、滞在期間（短期間）や旅行目的（史跡・歴史）等の観点から、TC1及びTC2地域からの姫路市来訪ポテンシャルは、TC3と異なる（TC1+TC2国籍の方が高需要）ことから、ターゲット国籍はTC地域別に比較し選定すべきと考える。

➤ コア・ターゲット選定とベンチマーク国籍：すでに姫路市来訪が顕著であり、今後も期待値が大きい外国籍

「姫路城パンフレット取得数推計＆姫路市宿泊構成比データ」（p6参照）から、TC1（TC3オーストラリアを類似エリアとみなす）は、アメリカ・オーストラリアの2か国、TC2においてはフランス・英国・ドイツの3か国、TC3においては大韓民国・台湾・中国・香港の4か国、TTL9か国（国籍別）をコア・ターゲットの候補とした。

これら9か国は、Step2（p7～12）の（①国際線就航計画 ②IATA加盟航空会社実績 ③法務省管理出国実績）データ検証の結果からも、上位ランキングを確認した。これらの中で、TC1はアメリカ、TC2においてはフランスを、TC3は台湾を、最も安定して期待できるベンチマーク・ターゲット国籍とし、その他の国籍ポテンシャルを推計するBaseとする。

➤ 戦略ターゲット選定：潜在的に姫路市来訪の可能性があり、施策やプロモーションにより拡大が期待できる外国籍。

Step2（①国際線就航計画 ②IATA加盟航空会社実績 ③法務省管理出国データ）データ検証の結果、上記コア・ターゲット候補以外に、拡大が期待できる外国籍と判断できる。TC1はカナダ、TC2においてはイタリア・スペインの2か国、TC3においてはタイ・シンガポール・フィリピン・マレーシア・インドネシア・ベトナムの6か国、TTL9か国を追加し、戦略ターゲット候補に選定した。アプローチすべき外国籍は、コア及び戦略ターゲット合わせて、総数18か国を候補とした。

参考：IATA地域とは、IATAがIATA運賃や規則を取り決めるために分割した地域で、世界を3エリアに分割し、それぞれTC1（主にアメリカ大陸）、TC2（主にヨーロッパ、アフリカ大陸）、TC3（主にアジア、オセアニア）としている。

5. 関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計 (TC別・ターゲット国籍別)

- (1) Step3 「2023年インバウンド出国実績 (ターゲット国籍候補別) : 大規模空港／姫路市近隣空港別」データ抽出 ①概要と重要性
Step4 「日本国内移動率 (関東圏⇒関西圏他) ×滞在期間影響度反映 : C 「関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計」

① 【概要と重要性】

- Step1及びStep2により選定した国籍別ターゲット候補が、調査エリアである姫路市近隣を実際に滞留し、それら来訪の可能性 (旅客数) を可視化するためには、まずStep3として「大規模3空港 (関西、羽田、成田空港) 及び「姫路市近隣4空港 (神戸、高松、岡山、広島空港)」における出国データを、抽出する必要がある。※出国データ採用理由 (滞在期間情報は入国データで取得できないため)
- 上記Step3に加えて、**関東圏** (①羽田及び成田空港に入国したインバウンドがダイレクトに国内線を利用／②首都圏を滞在基地とし観光を目的に一部期間を地上移動) から**関西圏**への日本国内移動者を精緻に推計することが不可欠となる。Step4においては、姫路市来訪の可能性として「**関西空港及び姫路市近隣空港入国者数**」+「**関東圏からの日本国内移動者数**」の内、インバウンド推計値を解析する。
- 上記Step3及びStep4における解析で重要な要素は「**国籍別の日本滞在期間**」であり、影響度 (姫路市来訪の可能性: 短期間⇒低下傾向) を推計に組み込むことで、単なる滞留数TTLから來訪者数の可能性にシフトさせることを目的とする。



C : 「**関西圏+姫路市近隣県来訪インバウンド推計 (p15~18)**」⇒姫路市来訪の可能性がある国籍別インバウンド来訪数とは、姫路市来訪に影響する「日本滞在期間」を反映した旅客数推計を指す。

5. 関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計 (TC別・ターゲット国籍別)

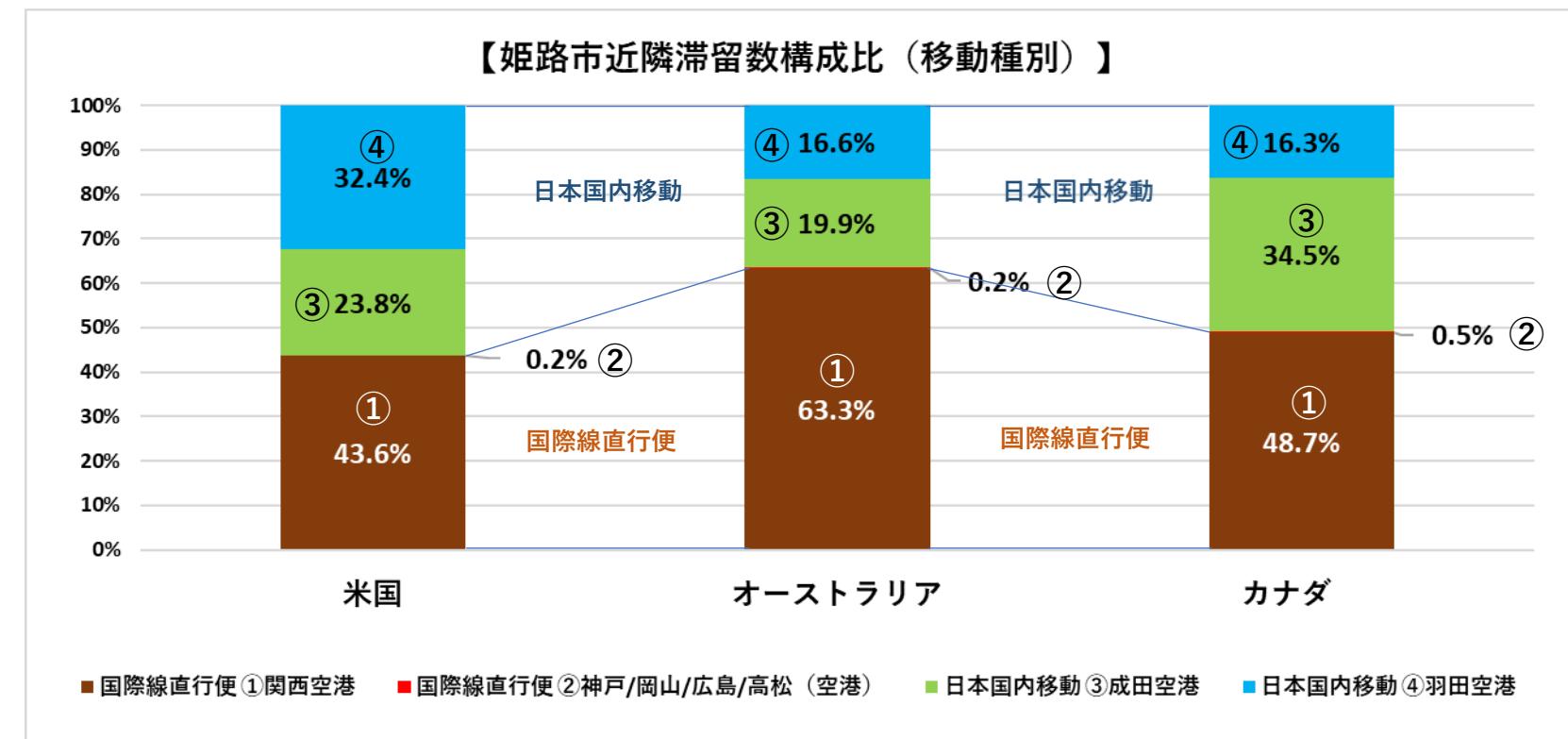
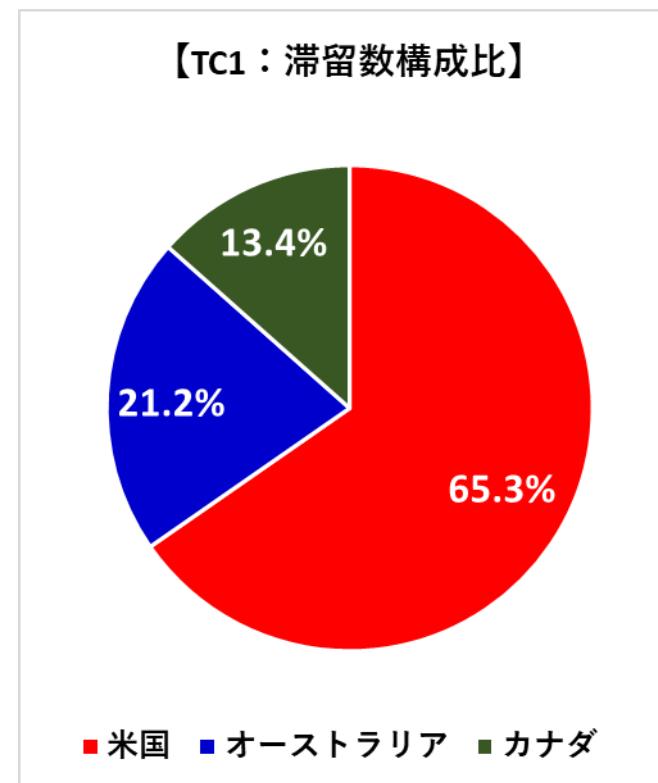
- (1) Step3 「2023年インバウンド出国実績 (ターゲット国籍候補別) : 大規模空港／姫路市近隣空港別」データ抽出 ②【TC1】
Step4 「日本国内移動率 (関東圏⇒関西圏他) × 滞在期間影響度反映 : C 「関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計」

▶ **米国** : ①羽田+成田空港入国約2割 (約22万人) が関西及び中四国方面へ移動／②関西空港+姫路市近隣空港入国 (17万人強) ⇒ ①+②合計約40万人
: TC1における構成比 (約65%) / 全体における構成比 (約8%) ⇒ TC1においては、ベンチマーク・ターゲット国籍 (コア・ターゲット国籍内) と選定

▶ **オーストラリア** : ①羽田+成田空港入国約15% (5万人弱) が関西及び中四国方面へ移動／②関西空港+姫路市近隣空港入国 (8万人強) ⇒ ①+②合計約13万人
: TC1における構成比 (約21%) / 全体における構成比 (約2.6%) ⇒ コア・ターゲット国籍と選定 ⇒ 冬期における羽田空港から北海道方面への移動率が高い

▶ **カナダ** : 合計8万人強 ⇒ TC1における構成比 (約13%) / 全体における構成比 (約1.7%) ⇒ 戦略ターゲット国籍と選定 ※ 関西空港就航 (サマーダイヤのみ)

②【TC1】



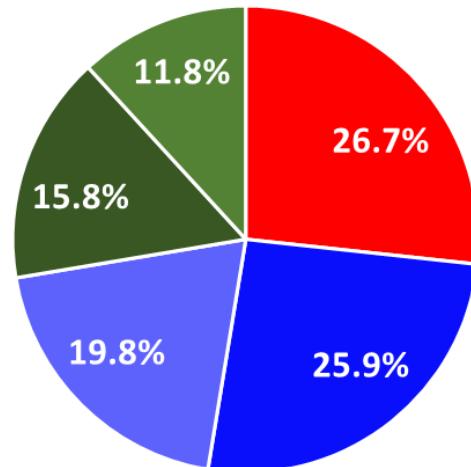
5. 関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計 (TC別・ターゲット国籍別)

- (1) Step3 「2023年インバウンド出国実績 (ターゲット国籍候補別) : 大規模空港/姫路市近隣空港別」データ抽出 ③【TC2】
Step4 「日本国内移動率 (関東圏⇒関西圏他) ×滞在期間影響度反映 : C 「関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計」

- ▶ **フランス** : ①羽田+成田空港入国 の2割強 (約3.3万人) が関西及び中四国方面へ移動 / ②関西空港+姫路市近隣空港入国 (4万人強) ⇒ ①+②合計約7.3万人
: TC2における構成比 (約27%) / 全体における構成比 (約1.5%) ⇒ TC2においては、ベンチマーク・ターゲット国籍 (コア・ターゲット国籍内) と選定
- ▶ **英国** : ①羽田+成田空港入国 の2割強 (約3.4万人) が関西及び中四国方面へ移動 / ②関西空港+姫路市近隣空港入国 (約3.6万人) ⇒ ①+②合計約7万人
: TC2における構成比 (約26%) / 全体における構成比 (約1.4%) ⇒ コア・ターゲット国籍と選定
- ▶ **ドイツ** : ①羽田+成田空港入国 の2割強 (約2.8万人) が関西及び中四国方面へ移動 / ②関西空港+姫路市近隣空港入国 (約2.6万人) ⇒ ①+②合計約5.4万人
: TC2における構成比 (約20%) / 全体における構成比 (約1.1%) ⇒ コア・ターゲット国籍と選定
- ▶ **イタリア** : 合計約4.3万人 ⇒ TC2における構成比 (約16%) / 全体における構成比 (約0.9%) ⇒ 戰略ターゲット国籍と選定
- ▶ **スペイン** : 合計約3.2万人 ⇒ TC2における構成比 (約12%) / 全体における構成比 (約0.7%) ⇒ 戰略ターゲット国籍と選定

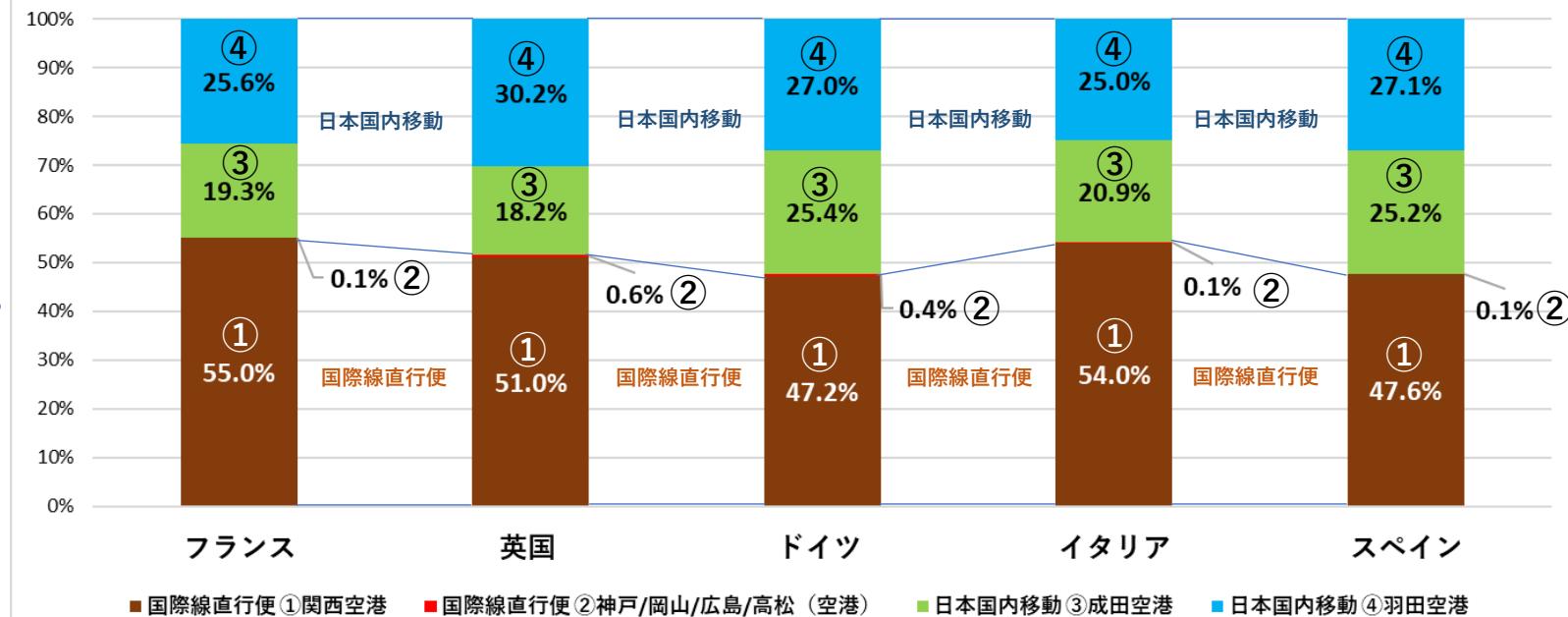
③【TC2】

【TC2：滞留数構成比】



■フランス ■英国 ■ドイツ ■イタリア ■スペイン

【姫路市近隣滞留数構成比 (移動種別)】



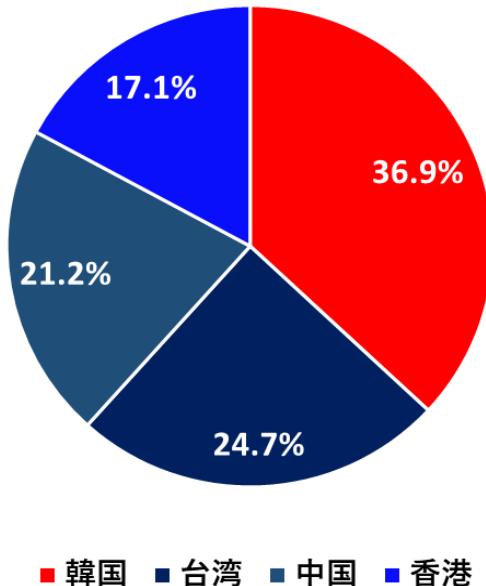
5. 関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計 (TC別・ターゲット国籍別)

- (1) Step3 「2023年インバウンド出国実績 (ターゲット国籍候補別) : 大規模空港/姫路市近隣空港別」データ抽出 ④【TC3 東アジア】
Step4 「日本国内移動率 (関東圏⇒関西圏他) × 滞在期間影響度反映 : C 「関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計」

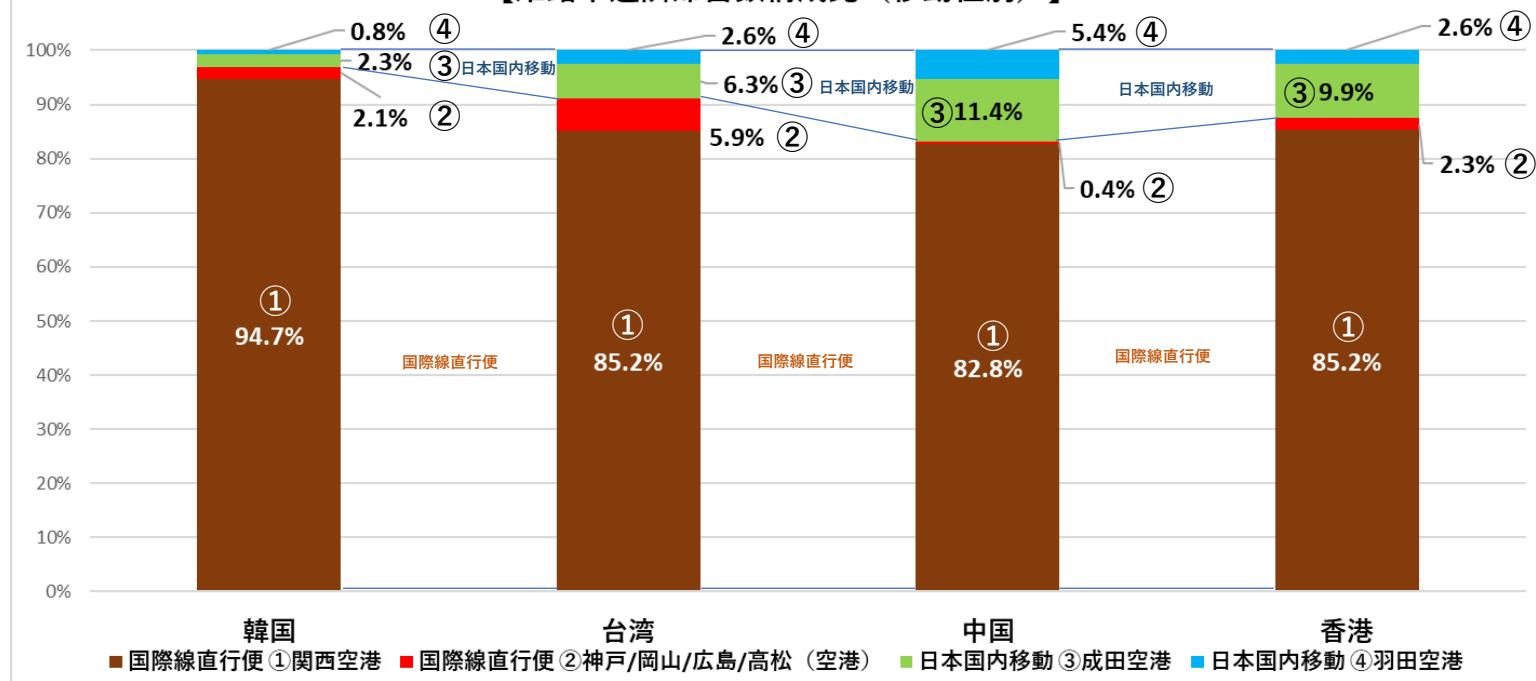
- ▶ **台湾** : ①羽田+成田空港入国約13% (約7万人) が関西及び中四国方面へ移動 / ②関西空港+姫路市近隣空港入国 (72万人強) ⇒ ①+②合計約80万人
: TC3における構成比 (約25%) / 全体における構成比 (約16%) ⇒ TC3においては、ベンチマーク・ターゲット国籍 (コア・ターゲット国籍内) と選定
- ▶ **韓国** : ①羽田+成田空港入国約2割強 (約3.7万人) が関西及び中四国方面へ移動 / ②関西空港+姫路市近隣空港入国 (約115万人) ⇒ ①+②合計約119万人
: TC3における構成比 (約37%) / 全体における構成比 (約24%) ⇒ コア・ターゲット国籍と選定
- ▶ **中国** : ①羽田+成田空港入国約2割強 (約11万人) が関西及び中四国方面へ移動 / ②関西空港+姫路市近隣空港入国 (約57万人) ⇒ ①+②合計約68万人
: TC3における構成比 (約21%) / 全体における構成比 (約14%) ⇒ コア・ターゲット国籍と選定
- ▶ **香港** : ①羽田+成田空港入国約14% (約6万人) が関西及び中四国方面へ移動 / ②関西空港+姫路市近隣空港入国 (約48万人) ⇒ ①+②合計約55万人
: TC3における構成比 (約17%) / 全体における構成比 (約11%) ⇒ コア・ターゲット国籍と選定

④【TC3 東アジア】

【TC3東アジア：滞留数構成比】



【姫路市近隣滞留数構成比 (移動種別)】

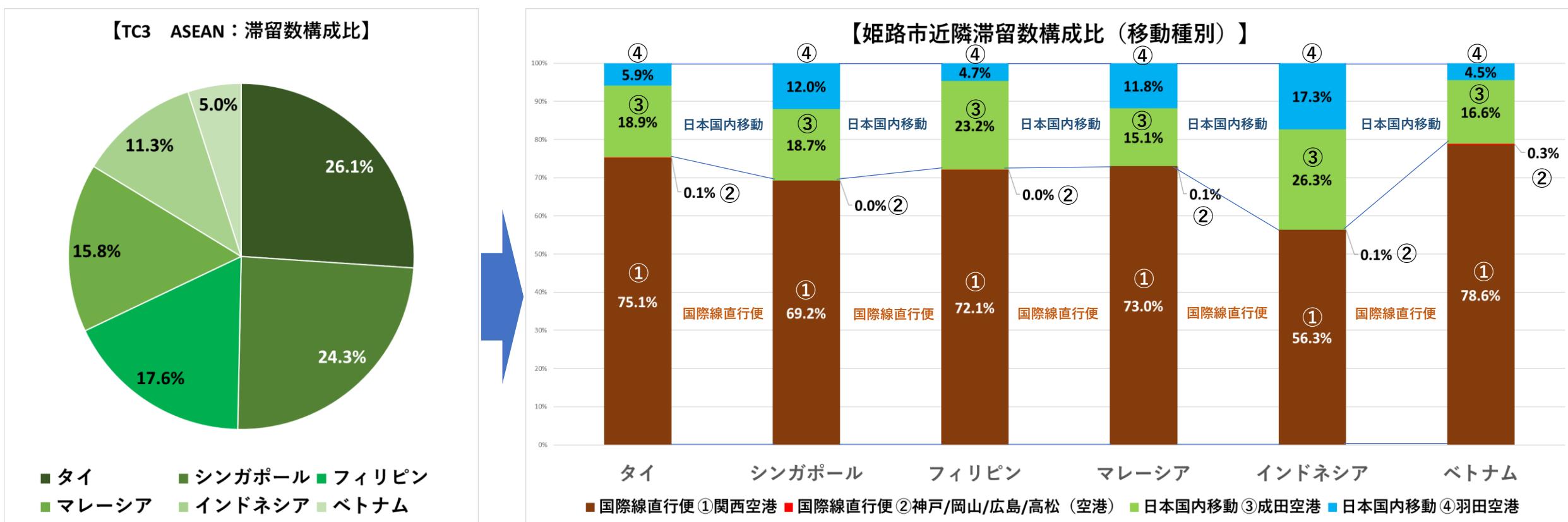


5. 関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計 (TC別・ターゲット国籍別)

- (1) Step3 「2023年インバウンド出国実績 (ターゲット国籍候補別) : 大規模空港/姫路市近隣空港別」データ抽出 ⑤【TC3 ASEAN】
 Step4 「日本国内移動率 (関東圏⇒関西圏他) × 滞在期間影響度反映 : C 「関西圏+姫路市近隣県滞留インバウンド推計」

- タイ : 合計約22.5万人 ⇒ TC3における構成比 (約26%) / 全体における構成比 (約5%) ⇒ 戰略ターゲット国籍と選定
- シンガポール : 合計約21万人 ⇒ TC3における構成比 (約24%) / 全体における構成比 (約4%) ⇒ 戰略ターゲット国籍と選定
- フィリピン : 合計約15万人 ⇒ TC3における構成比 (約18%) / 全体における構成比 (約3%) ⇒ 戰略ターゲット国籍と選定
- マレーシア : 合計約13.6万人 ⇒ TC3における構成比 (約16%) / 全体における構成比 (約2.7%) ⇒ 戰略ターゲット国籍と選定
- インドネシア : 合計約9.8万人 ⇒ TC3における構成比 (約11%) / 全体における構成比 (約2%) ⇒ 戰略ターゲット国籍と選定
- ベトナム : 合計約4.3万人 ⇒ TC3における構成比 (約5%) / 全体における構成比 (約0.9%) ⇒ 戰略ターゲット国籍と選定

⑤【TC3 ASEAN】



6. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計 (TC別・国籍別)

(1) Step5 ①クロス解析に必要な各種推計 (概要)

- H 「姫路市来訪インバウンド推計」 (p6)
⇒2023年4月～2024年3月、姫路市を実際に来訪したインバウンド
旅客数国籍別推計：合計 **452,300人**
- C 「関西圏+姫路市近隣県来訪インバウンド推計」 (pp15-18)
⇒2023年、関西圏及び姫路市近隣県に来訪（滞留）した
インバウンド旅客数の国籍別推計：合計 **4,971,164人**
①日本滞在期間影響度反映（短期間⇒姫路市来訪数減少度合い）
②姫路市に来訪が可能な距離・時間をしていているインバウンド数
- E 「姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計」 (pp19-21)
⇒クロス解析：H×C×姫路市特性（姫路城キラーコンテンツ
影響）
⇒2023年「国籍別ポテンシャル旅客数推計」：合計 **686,269人**



C（姫路市来訪可能な距離に滞留するインバウンド）と、H（現状の姫路市来訪実績推計）に姫路市の特性をクロス解析した推計値が、E（本来のポテンシャル）。施策投下を行っていない現状においても、本来来訪しているはずの国籍別旅客数。



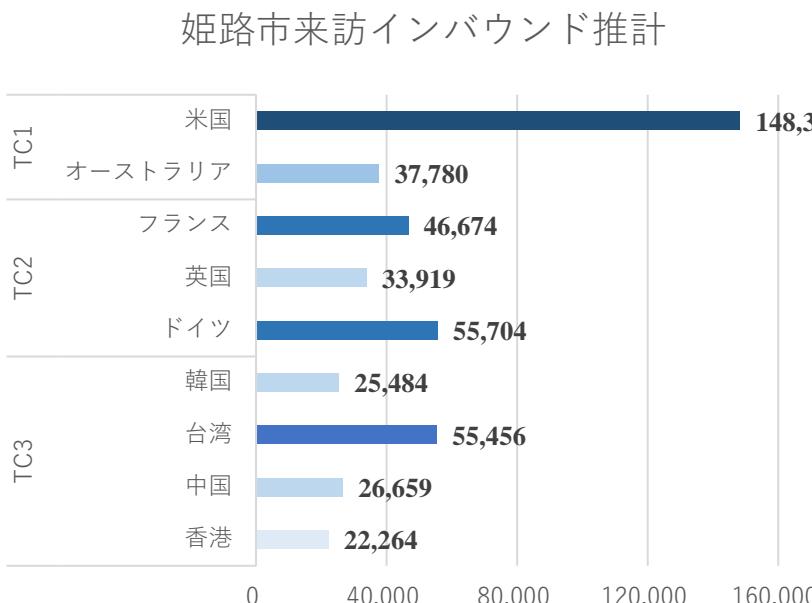
6. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計 (TC別・国籍別)

(1) Step5 ② H「姫路市来訪インバウンド推計」 ⇄ E「姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計」比較

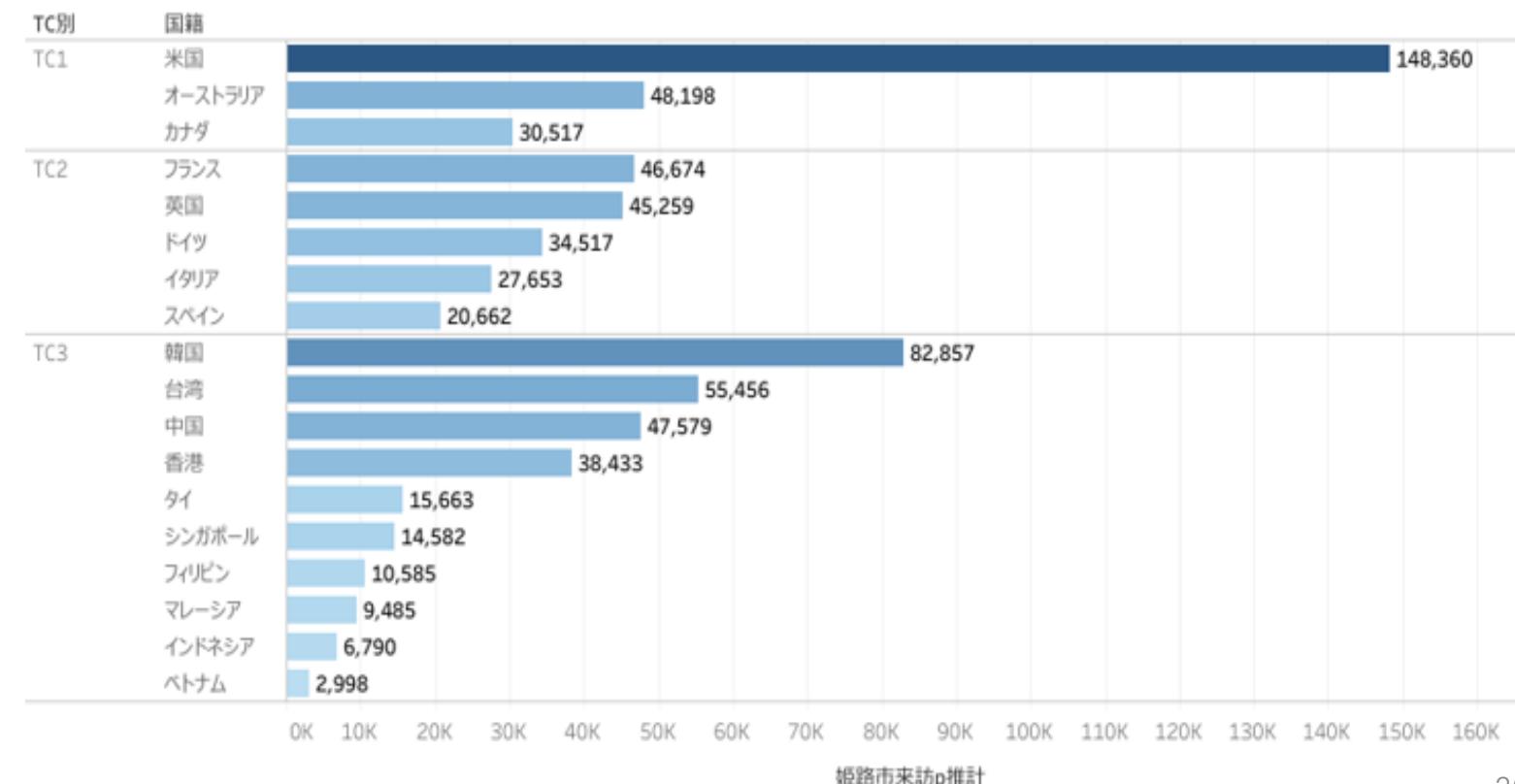
- TC1は米国籍のポテンシャルが圧倒的に高い。またTC3に属するが国民性が類似するオーストラリアは年間1万人の増加が推計値として更に見込める。
- TC2はフランス来訪者をBaseに推計した結果、英国は年間1.2万人増加が見込めるが、ドイツ人の増加は期待値をすでに超えていることが分かる。
- TC2のイタリア及びスペイン人が利用する航空会社は、エミレーツ・ルフトハンザ・エールフランス・フィンエアー・エティハド・中国国際航空による海外経由便が大半。
- TC3はポテンシャル1位が韓国であるが、実際の姫路市来訪は台湾や中国よりも低位にあり、原因解明を急務とする。中国と香港を合わせて年間3.6万人の増加が期待できる。
- TC3における戦略ターゲットとしてASEAN6か国が確認できるが、いずれもコア・ターゲットと比較して来訪ポテンシャルの低さが伺える。

姫路市来訪実績に対するポテンシャル（旅客数比較）

H「2023年度 国籍別・姫路市来訪インバウンド旅客数」推計



E「TC別・姫路市来訪ポテンシャル旅客数推計（国籍別旅客）

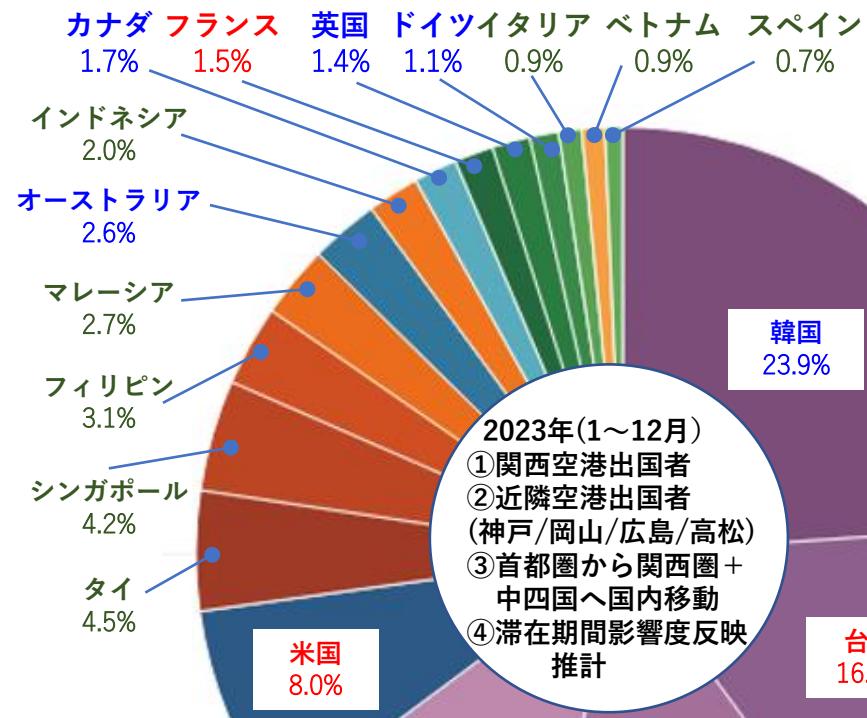


6. 2023年度 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計 (TC別・国籍別)

(1) Step5 ③ C「関西圏及び姫路市近隣県来訪インバウンド推計」 ⇄ E「姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計」構成比対比

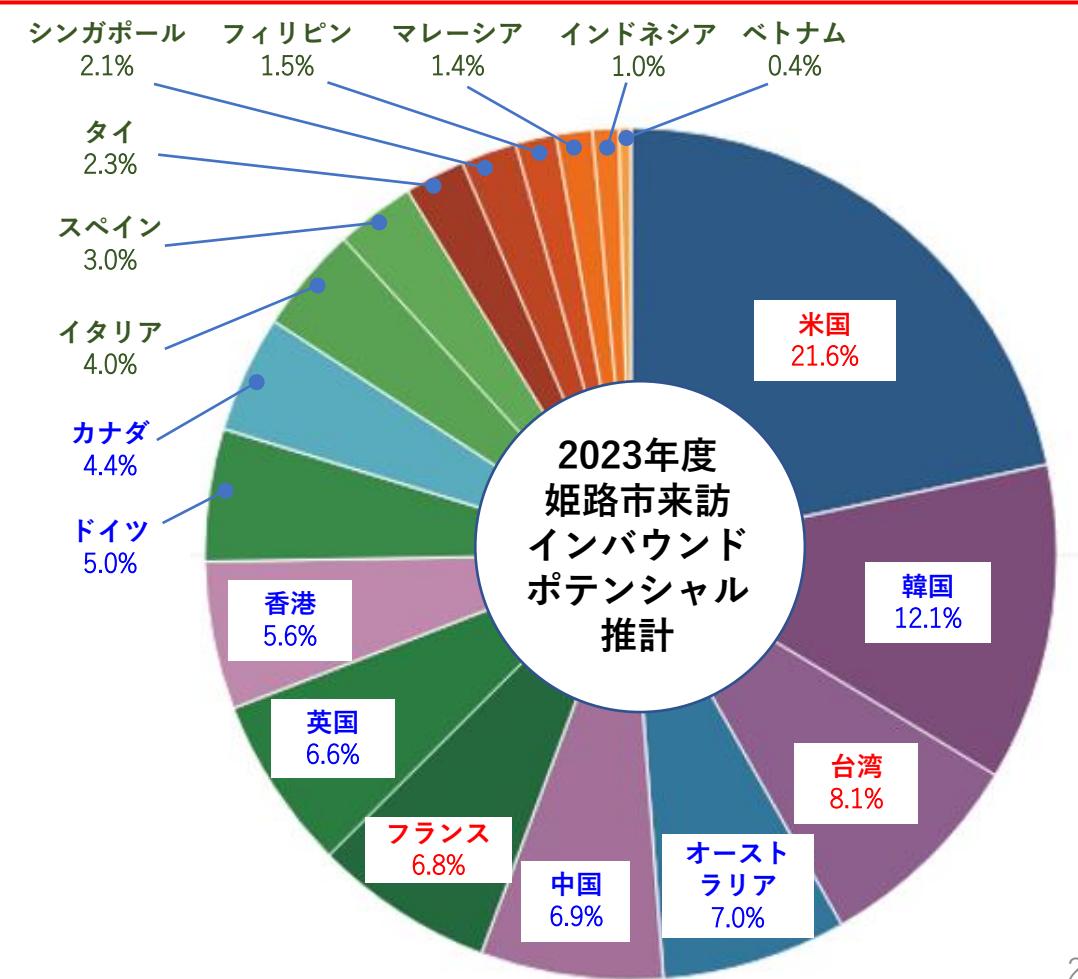
- 左グラフは、関西圏+近隣県に滞留している国籍別インバウンド構成比（推計）、右グラフは姫路市来訪のポテンシャルがある国籍別インバウンド構成比（推計）である。
- 7割近くの東アジア国籍が3割強に、ASEAN諸国も同様に低下傾向。米国やオーストラリア、TC2(ヨーロッパ)からの姫路市来訪の可能性が上昇傾向。
- これら傾向を踏まえたコアターゲット（青字）と、その中でも特に安定した来訪が見込めるベンチマーク国籍（赤字）、施策投下により来訪拡大の可能性の高い戦略ターゲット（緑字）に区分し、それぞれに効果的な施策投下が必要となる。

C「関西圏+姫路市近隣県来訪インバウンド推計（国籍別構成比）」



滞留数とポテンシャル数
(国籍別構成比)

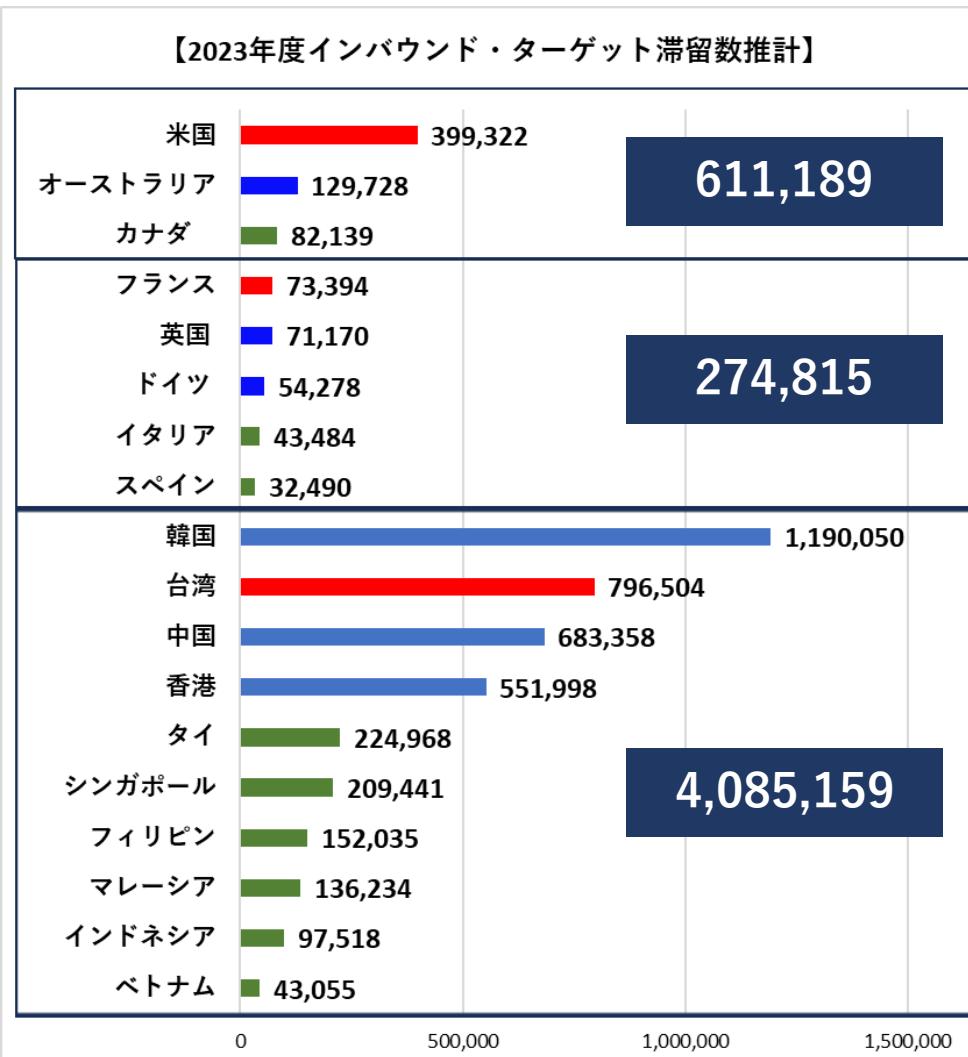
E「姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計（国籍別構成比）」



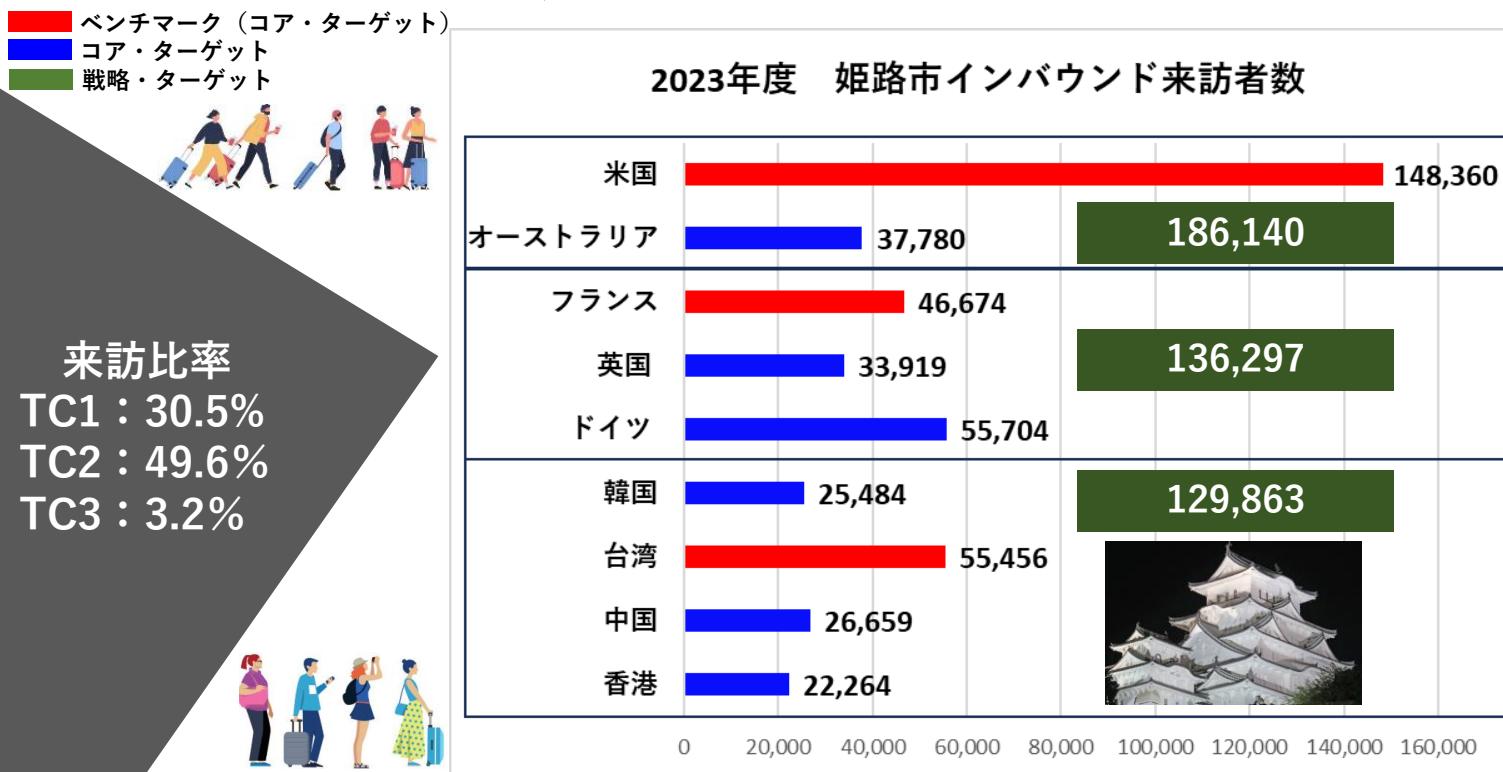
6. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計 (TC別・ターゲット国籍別)

(1) Step5 ④ C「関西圏+姫路市近隣県来訪インバウンド推計」 \leftrightarrow H「姫路市来訪インバウンド推計」比較

C「2023年度 関西圏+姫路市近隣県来訪インバウンド推計」



\rightarrow H「2023年度 姫路市来訪インバウンド推計」



来訪比率
TC1 : 30.5%
TC2 : 49.6%
TC3 : 3.2%



- C \Rightarrow TC1 : TC2 : TC3 = 12.3 : 5.5 : 82.2
姫路市へ来訪できる距離に来訪（滞留）したインバウンドは、圧倒的にTC3（アジア）の構成比が高い。
- H \Rightarrow TC1 : TC2 : TC3 = 41.2 : 30.1 : 28.7
実際に姫路市を来訪したインバウンドはTC1（北米）が4割を超え、TC2（欧州）の3割と合わせるとTC1+TC2で全体の7割を占める。
- 姫路市近隣を滞留している推計値に対し、実際の姫路市来訪者の歩留まり
TC1 : 30.5% TC2 : 49.6% TC3 : 3.2% \Rightarrow TC1及びTC2のターゲット国籍候補者は、高い歩留まりから姫路市（姫路城）を目的地とし事前に計画して来訪していることが分かる。

※滞在期間影響度反映⇒姫路市来訪可能な旅客数を算定

6. 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計 (TC別)

(1) Step5 ⑤ C「関西圏及び姫路市近隣県来訪インバウンド推計」 \leftrightarrow E「姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計」の来訪比率

- C【関西圏+姫路市近隣県来訪インバウンド推計】に対するE【姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計】の比率 \Rightarrow 圧倒的にTC2が高いことが分かる。
- 2025年以降の目標設定には、H【2023年の実際の姫路市インバウンド旅客数推計】の実績値取得（推計からの脱却）が重要 \Rightarrow ポテンシャル解析の更新が必須。

C : 滞留数におけるE : ポテンシャル数（来訪比率）

TC別	C : 関西圏+姫路市近隣県来訪インバウンド推計	E : 姫路市来訪インバウンド・ポテンシャル推計	ターゲット国籍候補来訪比率
-----	--------------------------	--------------------------	---------------

TC1+ オーストラリア	3か国合計 611,189人	3か国合計 227,076人	TC1+ オーストラリア 37.2%
-----------------	-------------------	-------------------	--------------------------

TC2	5か国合計 274,815人	5か国合計 174,765人	TC2 63.6%
-----	-------------------	-------------------	--------------

TC3	10か国合計 4,085,159人	10か国合計 284,429人	TC3 7.0%
-----	----------------------	--------------------	-------------

TTL	18か国合計 4,971,164人	18か国合計 686,269人	TTL 13.8%
-----	----------------------	--------------------	--------------

姫路市来訪比率 TC2 > TC1 > TC3



P

ポジショニング

- ✓ ターゲティング国籍誘客に向けて、競合エリアとの差別化（プロダクト&サービス）を決める \Rightarrow 観光地経営の成立が基本概念



- ターゲットに対する各種コンテンツ開発+施策投下計画
- ガイディング等受け入れ体制（有無）と広域連携（有無）



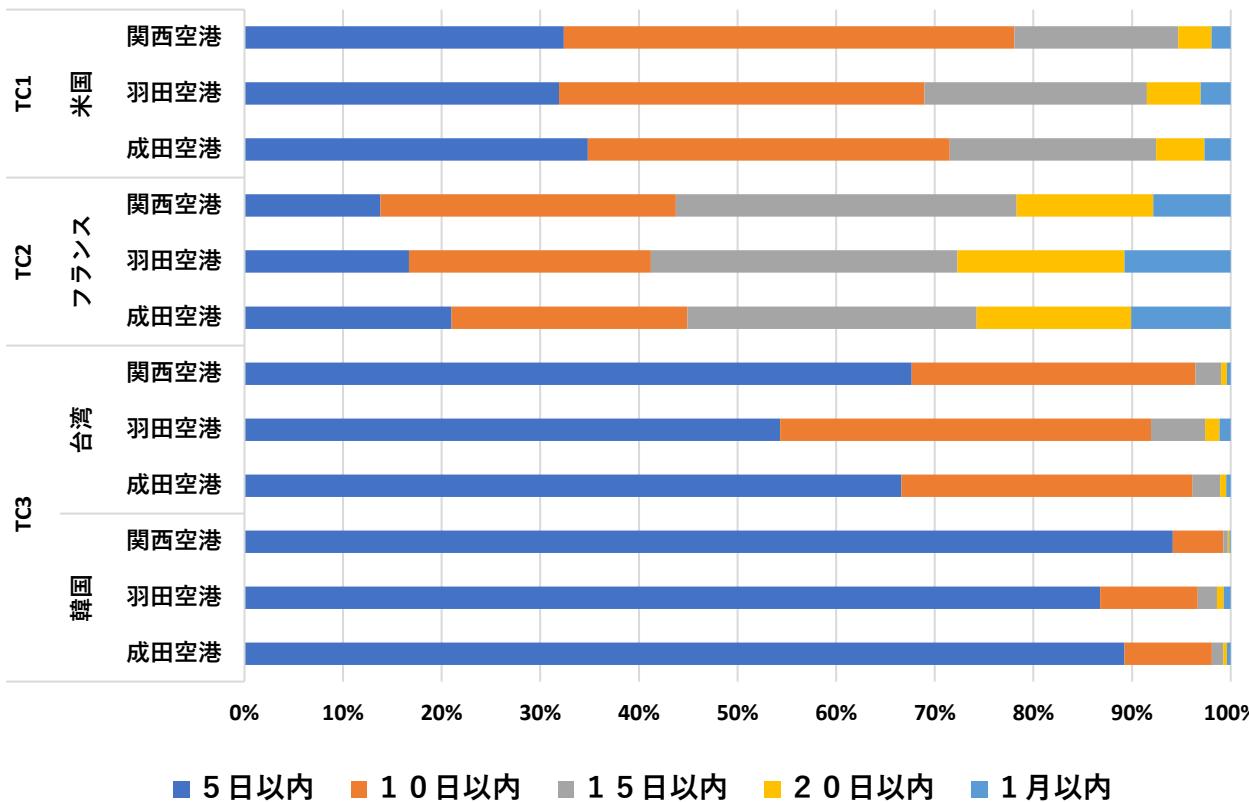
- 根拠のある目標設定の算出に活用するデータ解析

7. インバウンド旅客特性データ（施策・プロモーション）

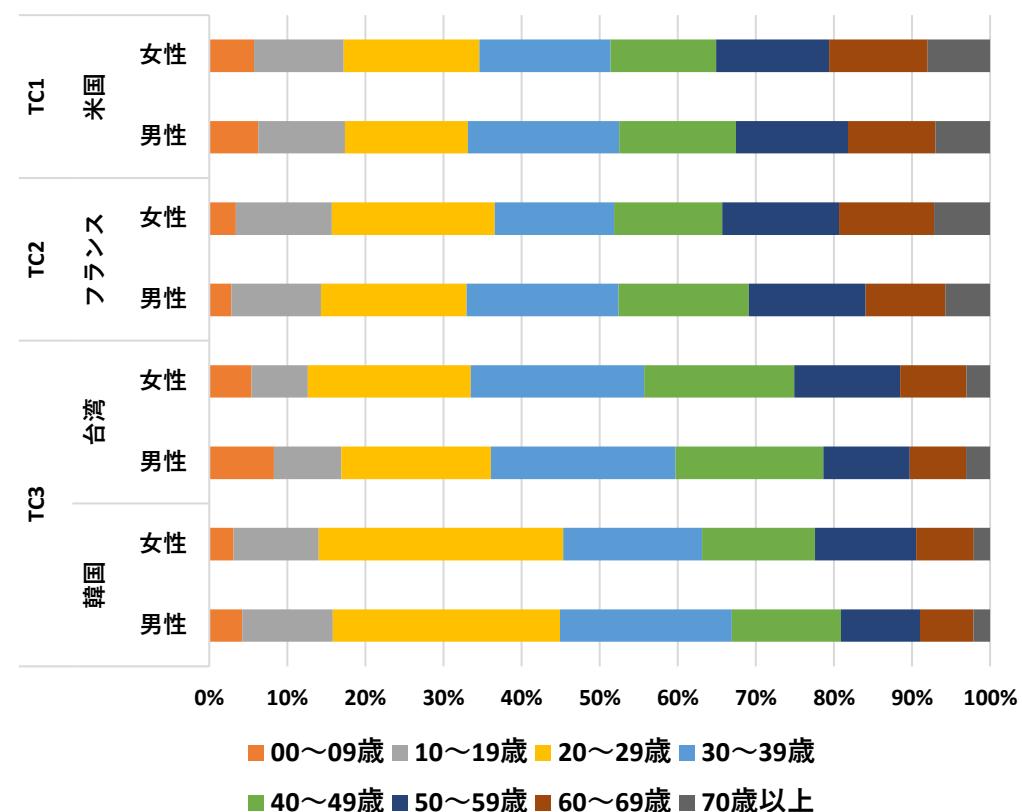
例① Step5：国際線直行便における空港別属性比較

- 滞在期間：TC2（フランス国籍）、TC1（米国籍）、TC3の順で滞在期間が長いため、宿泊需要拡大には欧米国籍への施策投下が必要となる。
- TC1（米国籍）の5日以内の構成比がTC2に比較して長く、男性の構成比が女性よりも大きいことから、ビジネス出張が多く含まれると思われる。
- 関西圏+姫路市近隣県滞留数が最も多い韓国籍は、5日以内の構成比が約9割を占めており、台湾籍に比較して広域移動が期待できない。
- TC1（米国籍）及びTC2（フランス籍）は、TC3に比較して年齢層が高く、60歳以上が3割を超えている。
- TC3（韓国籍）は男女共に20歳代の構成比が最も大きいことから、姫路市への来訪にはヤングマーケット向けの施策が必要と考える。

2023 空港出国・滞在期間別構成比（ベンチマーク3国+韓国）



2023 関西空港・性別・年齢別構成比（ベンチマーク3国+韓国）



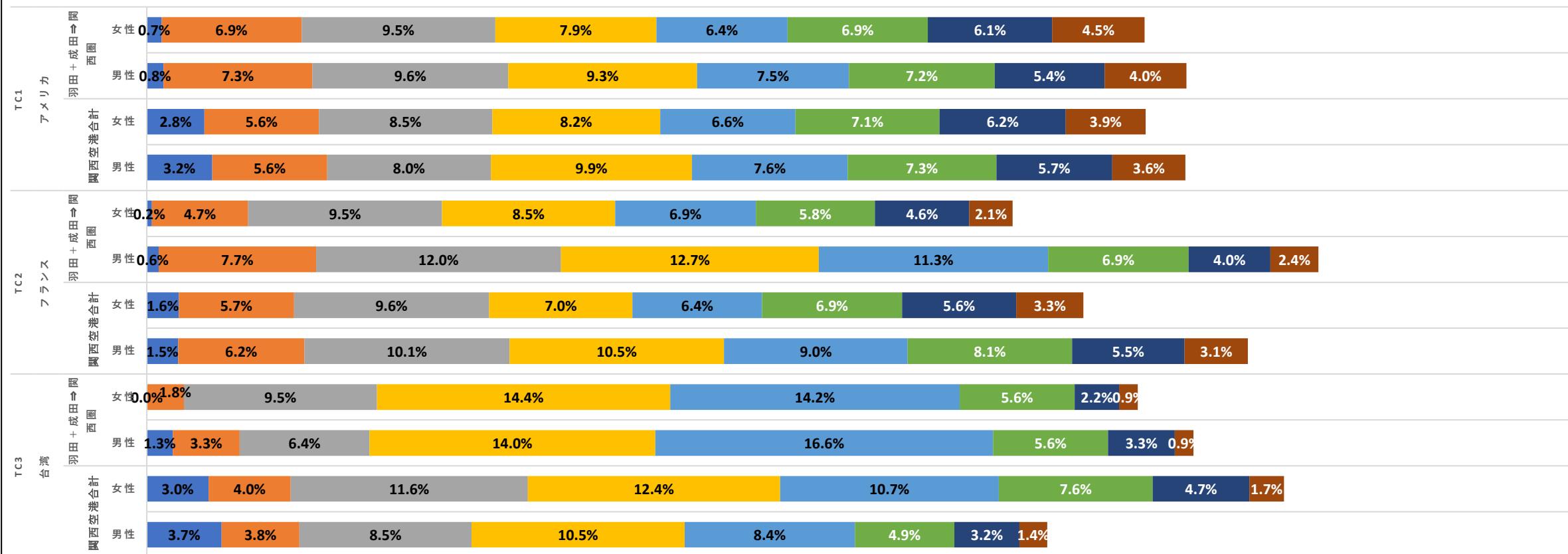
7. インバウンド旅客特性データ（施策・プロモーション）

例② Step5：羽田＋成田空港（国内線移動）⇒関西圏（ANA搭乗実績）と関西空港出入国の属性比較

- 総じて：関西空港直行便に比較して国内移動インバウンドは、幼児～小人（9s以下）構成比が少ない／30～40sの構成比が大きい
- TC1（アメリカ）：首都圏入国の国内移動者と関西空港入国者の属性は類似／男性と女性の構成比：約50%／TC3に比較して50s以上の構成比が男女ともに高い
- TC2（フランス）：首都圏入国の国内移動者は、フランス他（ターゲット国：別データ参照）男性の構成比が約60%⇒ビジネス構成比をターゲットから削除する必要あり
- TC3（台湾）：TC3（東アジア+ASEAN）は、女性の構成比がTC2に比較して高く約60%（レジャー構成比が高い）／30～40sの構成比が顕著に大きい

2023 TC別・属性・構成比【羽田＋成田空港（国内線移動）⇒関西圏】特性

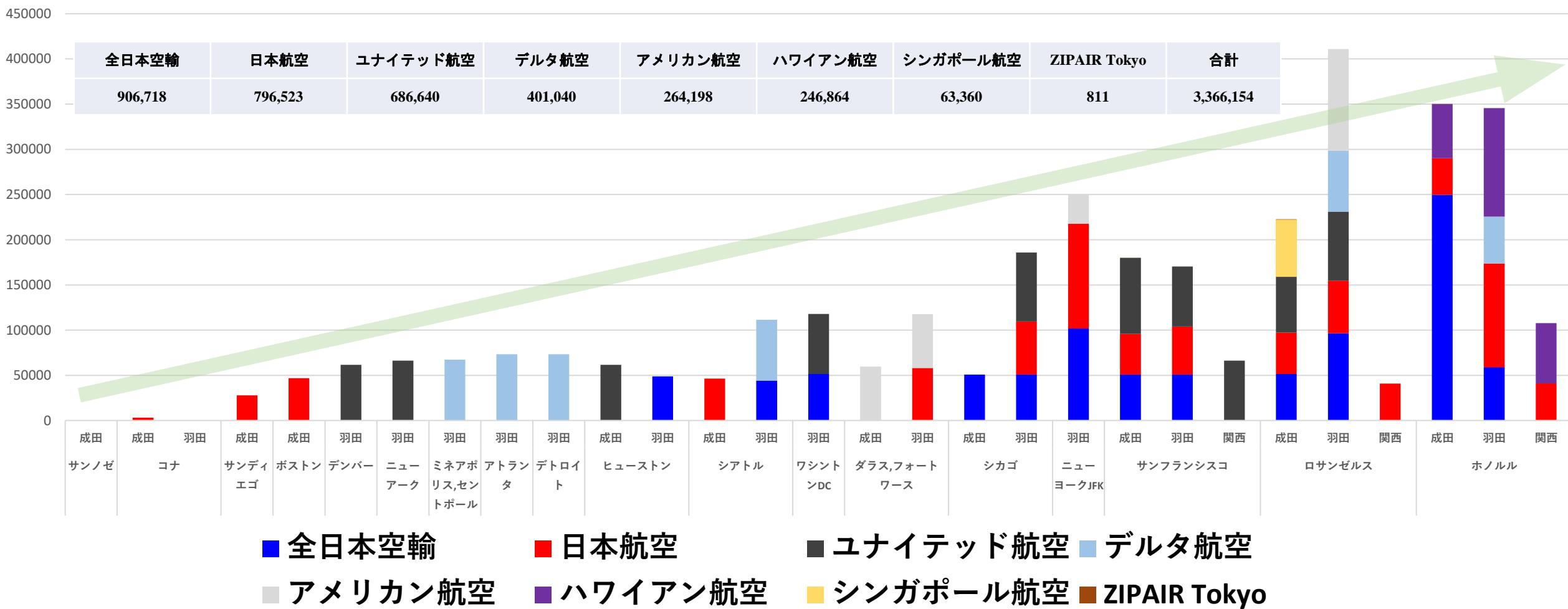
■ 0-9s ■ 10s ■ 20s ■ 30s ■ 40s ■ 50s ■ 60s ■ 70s-



7. インバウンド旅客特性データ（施策・プロモーション）

例③ Step5：米国（出国18空港）からの航空会社別提供座席数（2024サマーダイヤ計画値）

▶ 日系航空会社（全日空及び日本航空）の構成比は、全体の約50%と大きいが、ビジネス・レジャー需要共に日本人渡航の構成比も大きい。
⇒3外資（ユナイテッド・デルタ・アメリカン）の構成比は約40%で、米国18空港就航の内14空港からの来訪が見込めるため、プロモーション提携に効果が見込める。



2023年、関西圏及び姫路市近隣に来訪した韓国人は119万人（推計）を超える なぜ姫路市を訪れた観光人観光客は、わずか2.5万人（推計）なのか？

1,190,050人

関西圏+近隣県
滞在者数 - C

82,857人

姫路市来訪
ポテンシャル数 - E

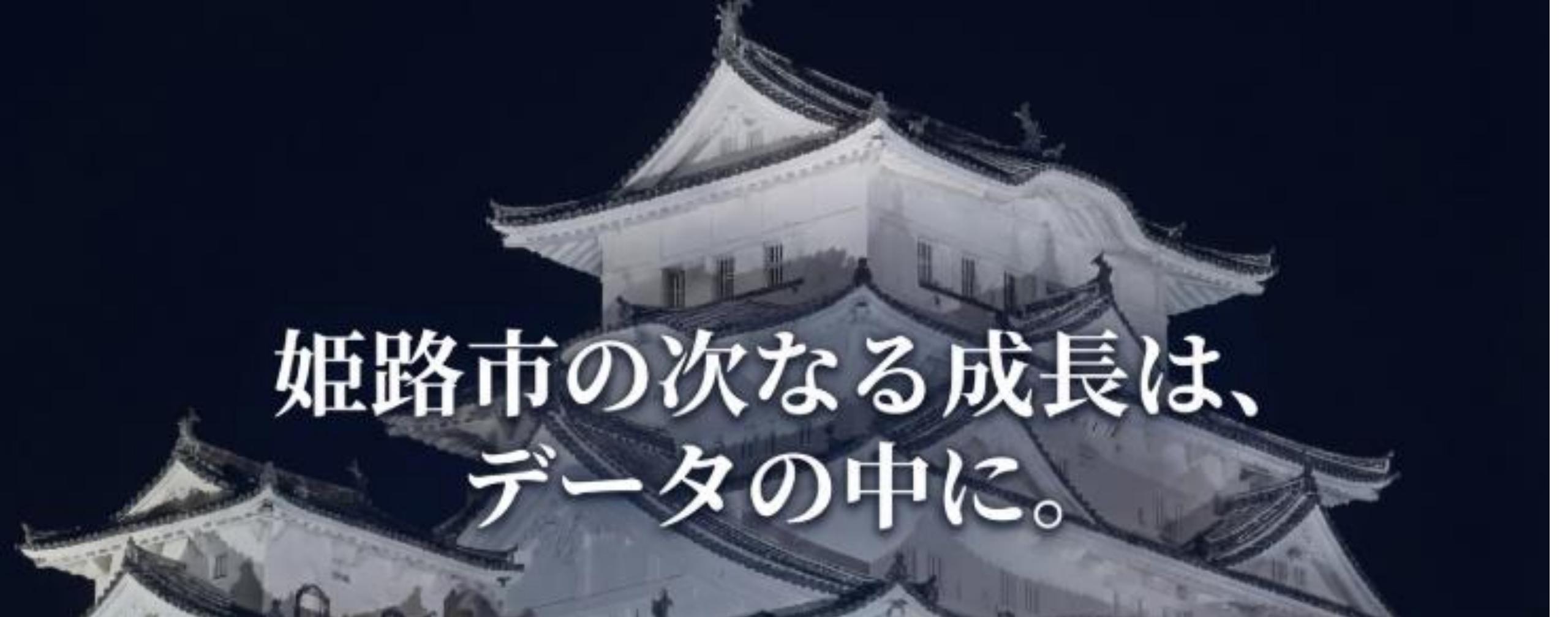
25,484人

姫路市来訪
実績数 - H

- **ポテンシャルの大きさ:** 韓国はベンチマークである台湾の1.5倍のポテンシャルを持つ、最大の機会市場。
- **現状の課題:** 実際の来訪率は、近隣滞在者のわずか2.1%。台湾(7.0%)や米国(37.2%)と比較して極端に低い。
- **仮説:** 滞在期間の短さ（5日以内が9割）、姫路城認知度の低さ、交通アクセスの認知不足、ターゲット層（20代中心）に響くコンテンツ不足などが考えられる。

Next Step: この「+57,000人」の機会を現実にするため、
阻害要因の緊急調査と、若年層をターゲットとした専用の
施策立案が急務。

神戸空港 2025年4月18日から国際チャーター便：大韓航空ソウル線就航（毎日2往復）予定
神戸空港から姫路市流動調査（重要課題）：近距離にある姫路市への来訪及び宿泊規模



姫路市の次なる成長は、
データの中に。

データが照らす未来：姫路市が選ぶべき、次なるインバウンド市場
選択と集中が、未来を切り拓く。